

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

< 第6週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-11

< インフルエンザ >
第6週の定点当たり報告数は24.69となり、第5週よりも大幅に減少した



病原体情報
P.12-15

インフルエンザウイルス 2008/09シーズン / 感染性胃腸炎関連ウイルス 2008/09シーズン



速報
P.16-22

腸管出血性大腸菌感染症 2006、2007年 - 後編



海外感染症情報
P.23

鳥インフルエンザ - ベトナムにおける状況



感染症の話
P.24

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(6週)
P.25-30



6週のデータ
P.31-43



発生動向総覧

2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

< 第6週コメント > 2月12日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核322例

3類感染症

細菌性赤痢3例

感染地域: 群馬県2例、インド1例

腸管出血性大腸菌感染症6例(有症者4例)

感染地域: 国内6例

国内の感染地域: 埼玉県2例、石川県1例、岐阜県1例、静岡県1例、大分県1例

年齢群: 0歳(1例)、9歳(1例)、20代(1例)、30代(1例)、40代(1例)、50代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(3例)、O26 VT1(1例)、O91 VT1(1例)、その他・不明(1例)

累積報告数: 60例(有症者40例、うちHUS 4例)

4類感染症

E型肝炎1例

感染地域: 東京都

感染源: レバー

A型肝炎1例

感染地域: 徳島県

デング熱2例

感染地域: インドネシア2例

マラリア1例

熱帯熱_感染地域: シエラレオネ

レジオネラ症9例(肺炎型8例、ポンティアック型1例)

感染地域: 秋田県1例、埼玉県1例、東京都1例、石川県1例、静岡県1例(温泉)、大阪府1例、広島県1例、高知県1例、鹿児島県1例(温泉)

年齢群: 40代(1例)、50代(1例)、60代(1例)、70代(3例)、80代(3例)

5類感染症

アメーバ赤痢7例(腸管アメーバ症6例、腸管及び腸管外アメーバ症1例)

感染地域: 宮城県1例、東京都1例、神奈川県1例、国内(都道府県不明)1例、沖縄県/フィリピン1例、ベトナム1例、中国/韓国1例

感染経路: 経口感染1例、性的接触1例(同性間)、経口感染/性的接触(異性間)1例、不明4例

急性脳炎2例 A型インフルエンザウイルス1例__年齢群: 10代
 病原体不明1例__年齢群: 0歳(死亡)

クロイツフェルト・ヤコブ病2例
 孤発性プリオン病古典型2例

後天性免疫不全症候群10例(AIDS 1例、無症候8例、その他1例)
 感染地域: 国内8例、ケニア1例、国内・国外不明1例
 感染経路: 性的接触9例(異性間2例、同性間6例、異性/同性間
 1例)、不明1例

梅毒6例(早期顕症I期1例、早期顕症II期2例、無症候3例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例
 遺伝子型: *VanC*__菌検出検体: 血液

風しん5例(検査診断例5例)
 感染地域: 宮城県1例、東京都1例、愛知県1例、広島県1例、国内
 (都道府県不明)1例
 年齢群: 15 ~ 19歳(1例)、25 ~ 29歳(1例)、40代(2例)、70代(1例)

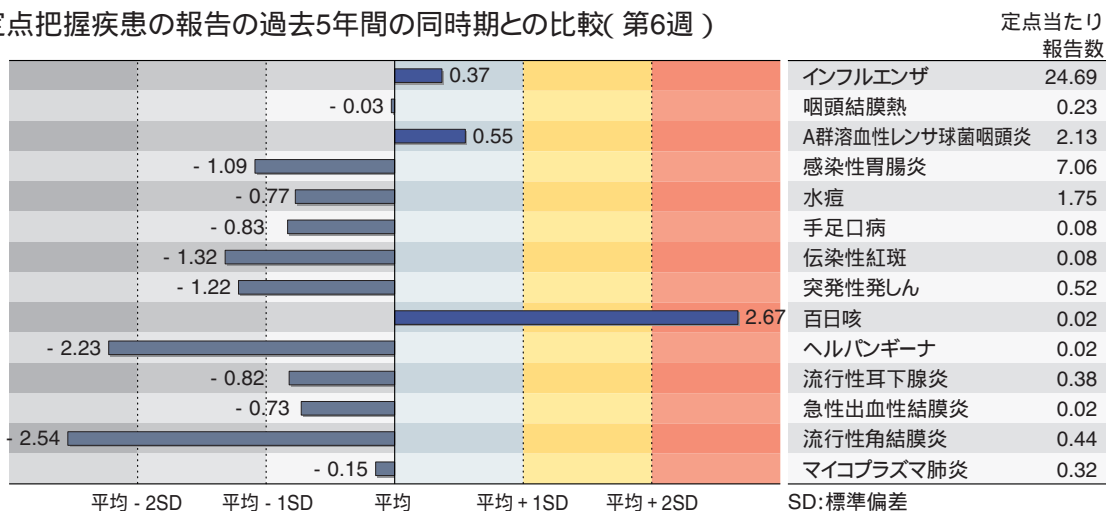
麻しん11例〔麻しん(検査診断例3例、臨床診断例8例)〕
 感染地域: 国内11例
 国内の感染地域: 青森県1例、群馬県1例、埼玉県1例、千葉県
 1例、東京都1例、大阪府1例、広島県1例、福岡
 県1例、鹿児島県1例、国内(都道府県不明)2例
 年齢群: 0歳(2例)、1歳(2例)、10 ~ 14歳(2例)、15 ~ 19歳(2例)
 20 ~ 24歳(2例)、35 ~ 39歳(1例)
 累積報告数: 94例〔麻しん(検査診断例24例、臨床診断例57例)
 修飾麻しん(検査診断例13例)〕

(補)他に2009年第5週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢2例(感染地域: ネパール1例、ウズベキスタン1例)、E型肝炎1例(感染地域: 三重県、感染源: 不明)、レジオネラ症1例(感染地域: 佐賀県(温泉))、急性脳炎4例〔A型インフルエンザウイルス3例(6歳1例_死亡、7歳1例、70代1例_死亡)、病原体不明1例(11歳)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(70代、死亡)、髄膜炎菌性髄膜炎1例(50代、感染地域: 千葉県)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(遺伝子型: *VanC*__菌検出検体: 胆汁、死亡)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第6週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では香川県(44.4)、沖縄県(37.8)、新潟県(36.8)、長崎県(35.8)、宮崎県(35.4)、兵庫県(34.0)、長野県(32.2)、福井県(31.1)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は496例と第3週以降減少が続いている。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では佐賀県(0.61)、新潟県(0.59)、福井県(0.55)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いている。都道府県別では鳥取県(4.9)、秋田県(4.7)、富山県(4.6)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では福井県(13.3)、山形県(12.5)、大分県(11.8)が多い。

水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(5.0)、佐賀県(4.8)、宮崎県(4.7)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では青森県(0.64)、秋田県(0.46)、福井県(0.32)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では宮城県(0.22)、青森県(0.21)、福島県(0.21)、東京都(0.21)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(0.12)、高知県(0.07)、福岡県(0.07)が多い。

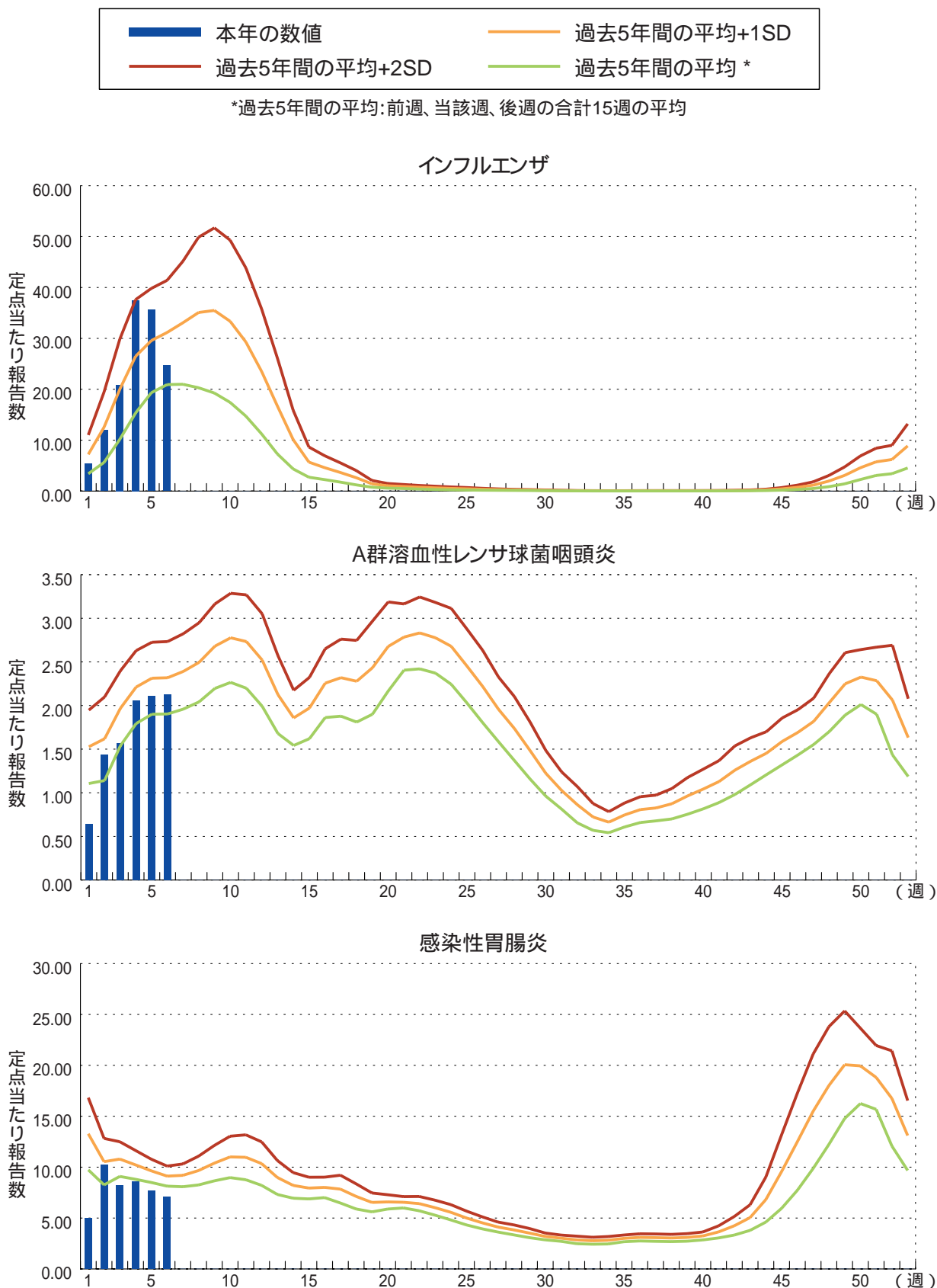
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮崎県(0.11)、岡山県(0.09)、沖縄県(0.09)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(1.73)、高知県(1.33)、福岡県(1.24)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(2.86)、福島県(2.57)、青森県(1.67)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2009年第1～6週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

インフルエンザ

インフルエンザ(Influenza)は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。1～3日間の潜伏期間を経て、突然に発熱(38 以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続く。通常は1週間前後の経過で軽快するが、いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴である。合併症等がなければ、約1週間の経過で軽快するものの、とくに高齢者や、基礎疾患を持っている場合などでは原疾患の悪化と共に、二次的な細菌性肺炎を起こす場合がある。また、小児では中耳炎の合併や熱性痙攣、気管支喘息の誘発を招く場合がある。更に乳幼児を中心とした小児においては、稀ではあるものの急性脳症(インフルエンザ脳症)を合併する場合がある。インフルエンザが疑われる症状を呈した場合は、速やかに医療機関を受診して医師の診断と適切な治療を受けることが重要である。

感染症発生動向調査によると、2009年第6週のインフルエンザの定点当たり報告数は24.69(報告数118,099)となり、第5週(定点当たり報告数35.62)より大幅に減少した(図1)。都道府県別では香川県(44.4)、沖縄県(37.8)、新潟県(36.8)、長崎県(35.8)、宮崎県(35.4)、兵庫県(34.0)、長野県(32.2)、福井県(31.1)、高知県(31.0)、福岡県(30.8)の順であるが、島根県を除く46都道府県で前週より報告数の減少がみられている(図2、図3)。2008年第36週～2009年第6週までの定点当たり累積報告数は154.98(累積報告数735,210)であり、年齢別では5～9歳232,646例(31.6%)、0～4歳166,740例(22.7%)、10～14歳116,268例(15.8%)、30～39歳65,099例(8.9%)の順となっているが、5～9歳の年齢群が最多を占め、14歳以下の報告割合が全体のほぼ70%に達していることは例年と同様である(図4)。第36週以降のインフルエンザウイルスの分離報告数は長崎県、宮崎県を除く45都道府県から2,206件あり、その内訳はAH1亜型1,183件(53.6%)、AH3亜型753件(34.1%)、B型270件(12.2%)となっている(図5)。報告数の半数以上を占めるAH1亜型の分離報告割合は更に増加傾向にある(図5、図6)。

図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(1999～2009年第6週)

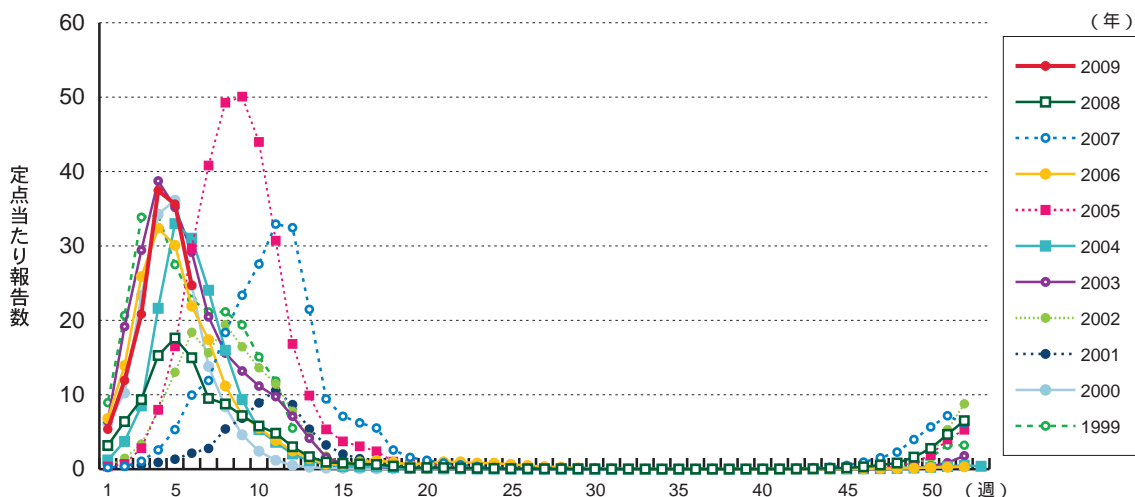


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況(2009年第6週)

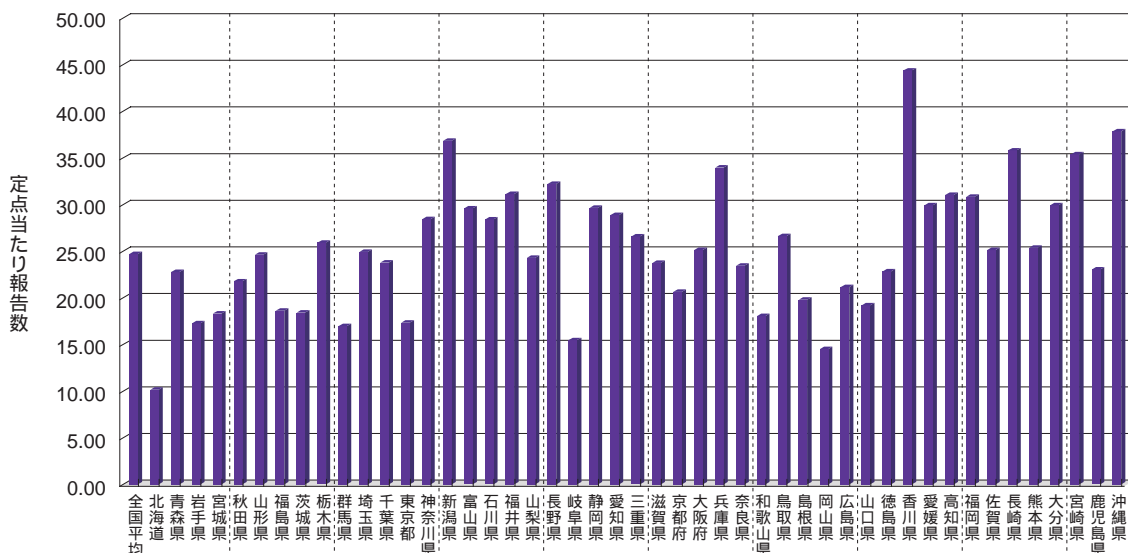


図3. 主要都道府県におけるインフルエンザの週別推移(2008年第36週～2009年第6週)

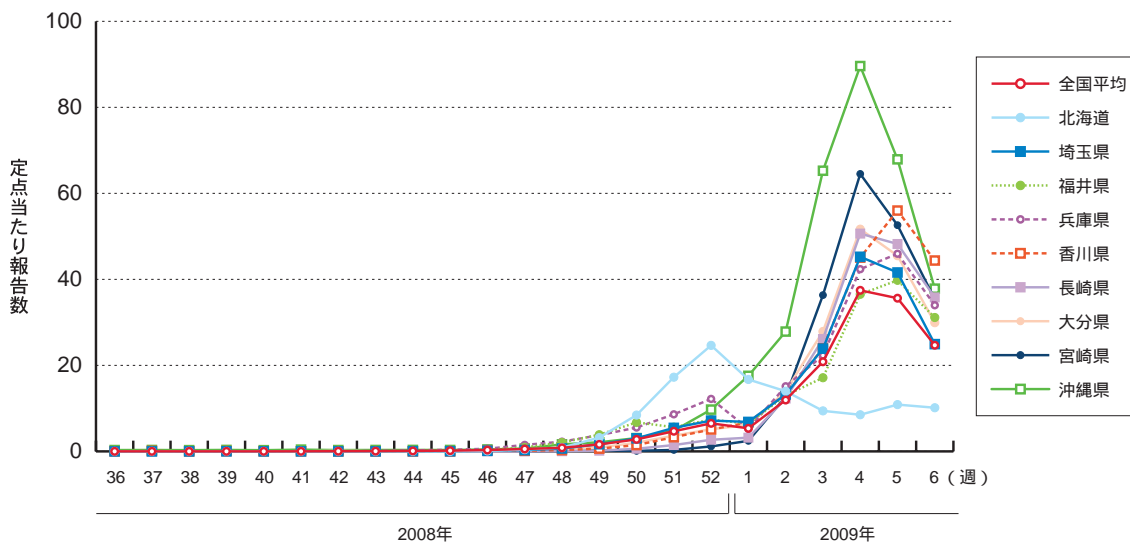


図4. 2008/09シーズンのインフルエンザ累積報告数の年齢群別割合(2008年第36週～2009年第6週)

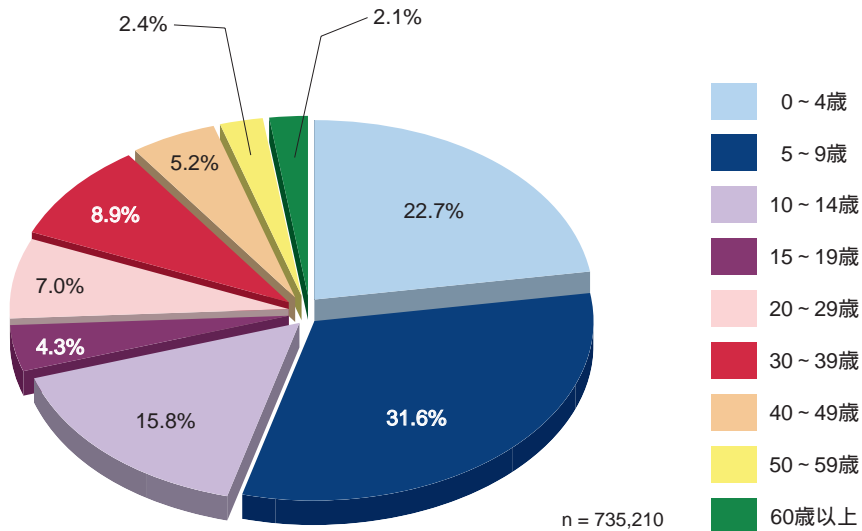


図5. インフルエンザウイルス型別分離・検出割合報告(2008年第36週～2009年第6週)
(病原微生物検出情報: 2009年2月12日現在報告数)

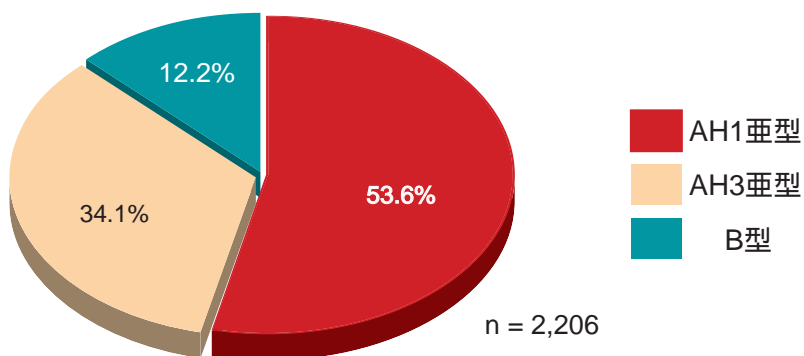
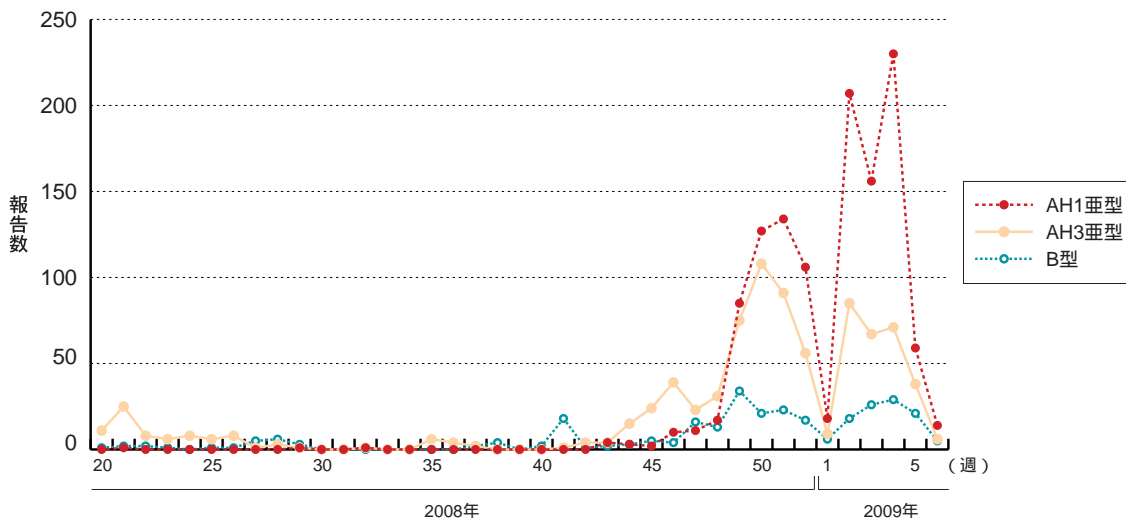


図6. インフルエンザウイルス分離・検出報告数の週別推移(2008年第20週～2009年第6週)
(病原微生物検出情報:2009年2月12日現在報告数)



インフルエンザの重篤な合併症であるインフルエンザ脳症は、5類感染症全数把握疾患の急性脳炎の発生動向調査の一環として報告がなされており、今シーズンは2008年第36週以降これまでに17都道府県から33例(男性21例、女性12例、33例中6例は診断後死亡例として報告)の報告があった。診断週別にみると、第1週以降報告数の増加がみられ、第4週7例、第5週8例とインフルエンザの流行のピークとほぼ一致する形でインフルエンザ脳症の報告数の増加がみられている(図7)。年齢別では3歳が7例と最も多く、10歳以下が28例と全体の約85%を占めていた。都道府県別では、大阪府から6例と最多であり、以下東京都5例、新潟県3例、北海道、埼玉県、神奈川県、千葉県、福島県から各2例の順であった(表)。都道府県別では大阪府や東京都からの報告数が多いが、これは必ずしも今シーズンのインフルエンザの流行状況を反映したものとは言

図7. 2008/09シーズンインフルエンザ脳症診断報告数及びインフルエンザ定点当たり報告数
週別推移(2008年第36週～2009年第6週)

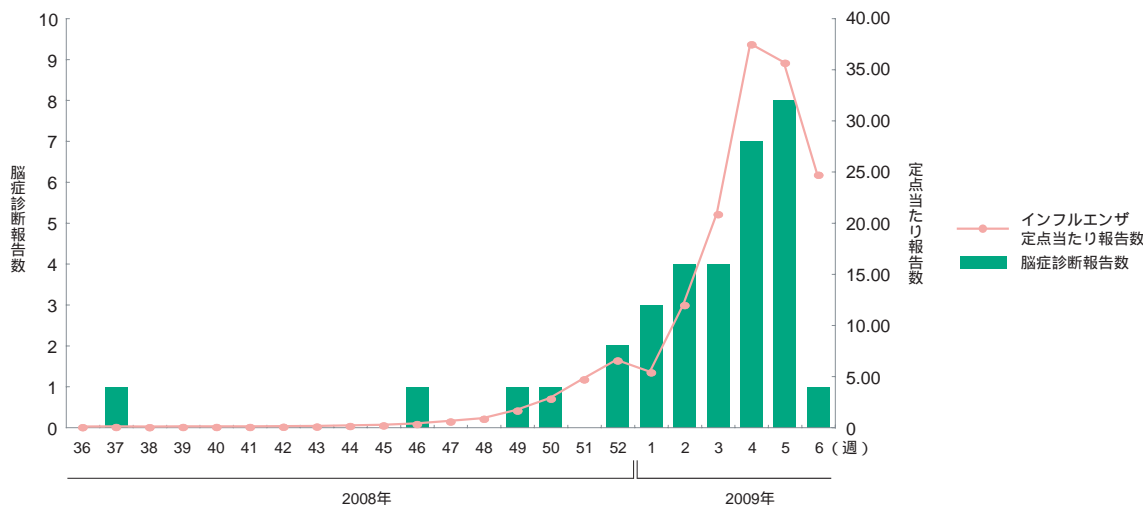
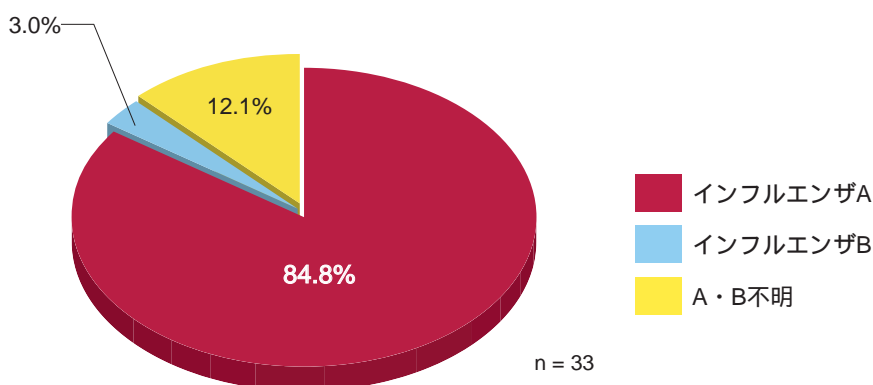


表. 2008/09シーズンインフルエンザ脳症発生報告一覧

	性別	年齢	ウイルス型	診断年月日	報告都道府県	症状・他	死亡報告
1	女	5	A	2008.09.13	福島県	発熱、痙攣、意識障害	
2	女	3	A	2008.11.15	東京都	発熱、痙攣	
3	男	50代	B	2008.12.03	大阪府	発熱、意識障害	
4	女	8	不明	2008.12.08	北海道	発熱、痙攣	
5	男	3	不明	2008.12.23	大阪府	発熱、痙攣、意識障害	
6	男	6	A	2008.12.27	北海道	発熱、頭痛、痙攣、意識障害	
7	女	10代	A	2008.12.29	新潟県	発熱、意識障害	
8	男	40代	A	2009.01.02	東京都	意識障害	
9	男	3	A	2009.01.02	大阪府	発熱、痙攣、意識障害	
10	女	9	A	2009.01.05	新潟県	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害	
11	男	5	不明	2009.01.05	香川県	発熱、痙攣、意識障害	
12	男	10代	不明	2009.01.08	山口県	発熱、意識障害	
13	男	7	A	2009.01.11	栃木県	発熱、意識障害	
14	男	4	A	2009.01.13	神奈川県	発熱、痙攣、意識障害	
15	男	1	A	2009.01.14	福島県	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害	
16	男	5	A	2009.01.17	鳥取県	発熱、痙攣、意識障害	
17	男	10代	A	2009.01.18	東京都	発熱、痙攣、意識障害	
18	女	6	A	2009.01.19	千葉県	発熱、痙攣、意識障害	
19	男	0	A	2009.01.19	長野県	発熱、痙攣、意識障害	
20	女	9	A	2009.01.19	京都府	発熱、痙攣、意識障害	
21	女	8	A	2009.01.20	神奈川県	発熱、痙攣、意識障害	
22	女	3	A	2009.01.20	大阪府	発熱、痙攣、意識障害	
23	男	3	A	2009.01.22	東京都	発熱、痙攣、意識障害	
24	男	2	A	2009.01.22	新潟県	発熱、痙攣、意識障害	
25	女	1	A	2009.01.26	埼玉県	発熱、痙攣、意識障害	
26	男	4	A	2009.01.26	埼玉県	発熱、痙攣、意識障害	
27	女	70代	A	2009.01.26	長崎県	発熱、痙攣、意識障害	
28	女	5	A	2009.01.27	大阪府	発熱、意識障害	
29	男	3	A	2009.01.27	岡山県	発熱、痙攣、意識障害	
30	男	3	A	2009.01.30	千葉県	発熱、痙攣、意識障害	
31	男	7	A	2009.02.01	東京都	発熱、痙攣、意識障害	
32	男	6	A	2009.02.01	大阪府	発熱、痙攣、意識障害	
33	男	10代	A	2009.02.03	静岡県	発熱、痙攣、意識障害	

い難く、まだ全ての発生例が報告されていない可能性を考慮すべきである。ウイルス型別では、A型28例(84.8%)、B型1例(3.0%)、型別不明4例(12.1%)となっており、今シーズンのインフルエンザの流行状況を反映して、大半がA型ウイルス由来であった(図8)。なお、33例中6例の死亡報告がみられていたが、全ての死亡例が反映されていない可能性がある。

図8. 2008/09シーズンのインフルエンザ脳症報告例ウイルス型別割合
(2008年第36週～2009年第6週)



今シーズンのインフルエンザの全国的な流行は2008年第49週(定点当たり報告数1.62)から開始し、冬季休暇中に一旦報告数が減少した後の2009年第4週に定点当たり報告数は37.45(報告数178,991)と今シーズン最高となり、その後第5週、第6週と2週連続して報告数は減少した。今シーズンのインフルエンザの流行は、そのピークを過ぎたと思われる。今シーズンは国内で流行しているAH1亜型インフルエンザウイルスの大半がリン酸オセルタミビルに対する耐性遺伝子を有していることが確認されているが(インフルエンザウイルス分離・検出速報 2008/09シーズン: <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html>) 同亜型ウイルスは国内で分離されているウイルスの半数以上を占めており、しかもその割合は現在も増加しつつある。

インフルエンザの流行のピークは過ぎ去りつつあるものの、現在も西日本地域を中心として流行は継続しており、今しばらくはインフルエンザの発生動向には注意が必要である。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2009年2月12日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2008/09シーズン

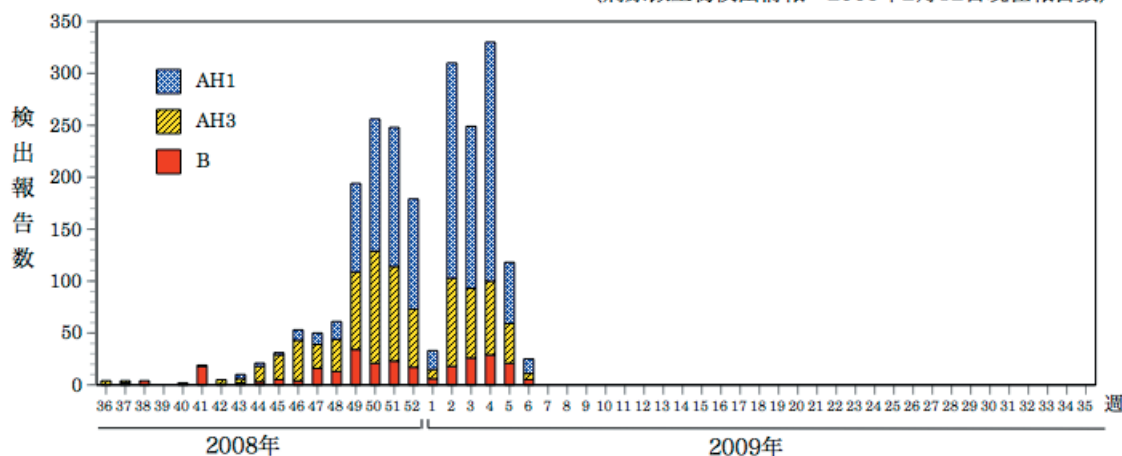
2008年第49週以降報告数が増加しており、2009年に入ってからAH1亜型の報告が多くなっている。2009年第6週までにAH1亜型が42都道府県から1,183件、AH3亜型が42都道府県から753件、B型が35都道府県から270件の分離・検出が報告されている。

直近の4週間(第3～6週)にはAH1亜型が静岡県64件、北海道45件、島根県28件、兵庫県、広島県各27件、福井県25件、岐阜県、大阪府各24件、長野県21件、熊本県16件、秋田県、茨城県各11件、京都府10件など、計459件、AH3亜型が岐阜県31件、兵庫県26件、島根県21件、静岡県18件、広島県15件、大阪府11件、愛媛県7件、高知県6件、三重県、滋賀県、熊本県各5件、福井県4件など、計182件、B型が兵庫県11件、大阪府10件、静岡県8件、愛媛県6件、北海道、福岡県、熊本県各5件、埼玉県、福井県、広島県各4件など、計81件(ビクトリア系統75件、山形系統4件、不明2件)の分離・検出が報告されている。このうち、第3週に福岡県で米国・ハワイ渡航後の成人からAH1亜型1件の分離が報告されている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2008/09シーズン

(病原微生物検出情報：2009年2月12日現在報告数)

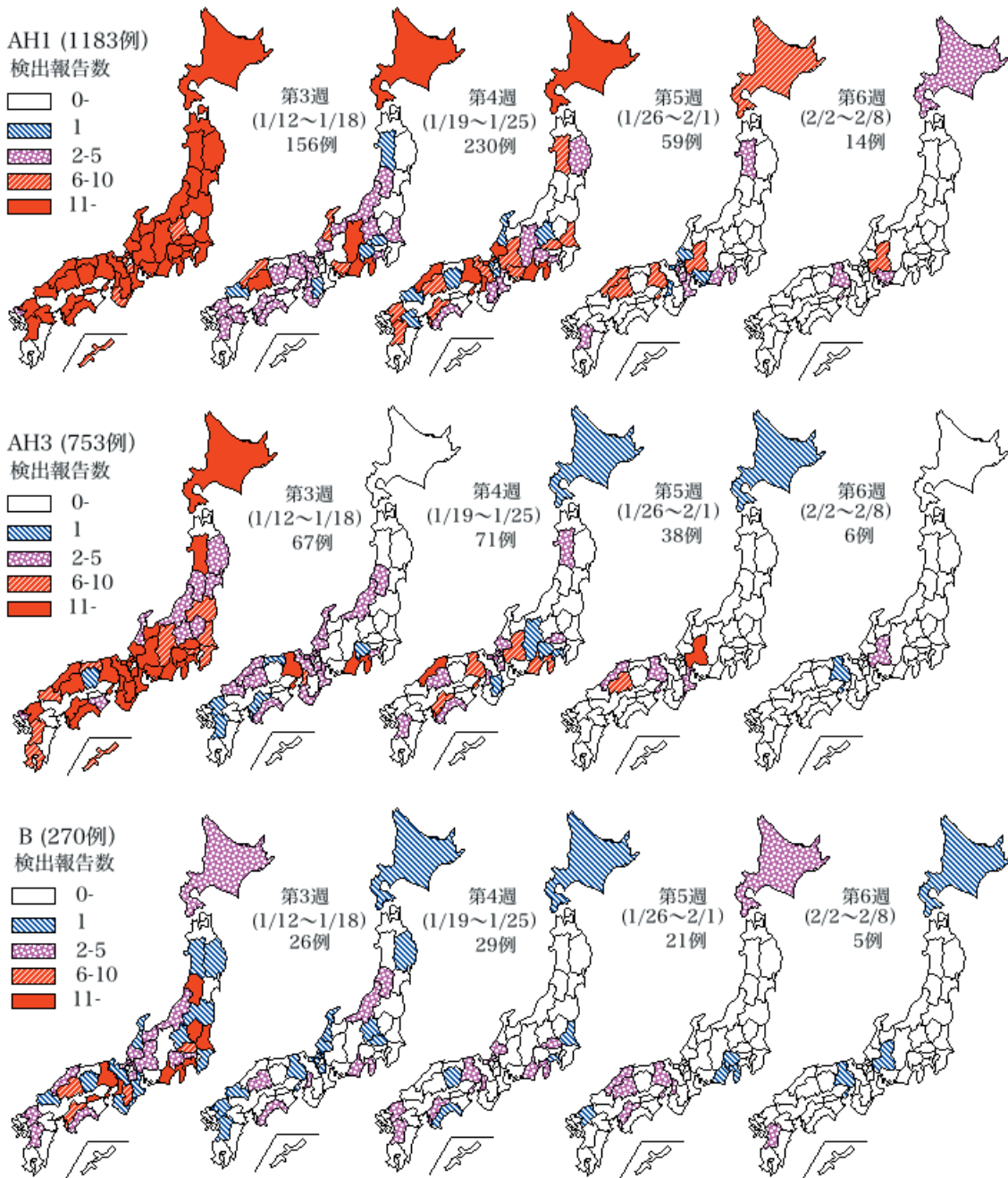


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2008/09シーズン
(病原微生物検出情報：2009年2月12日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

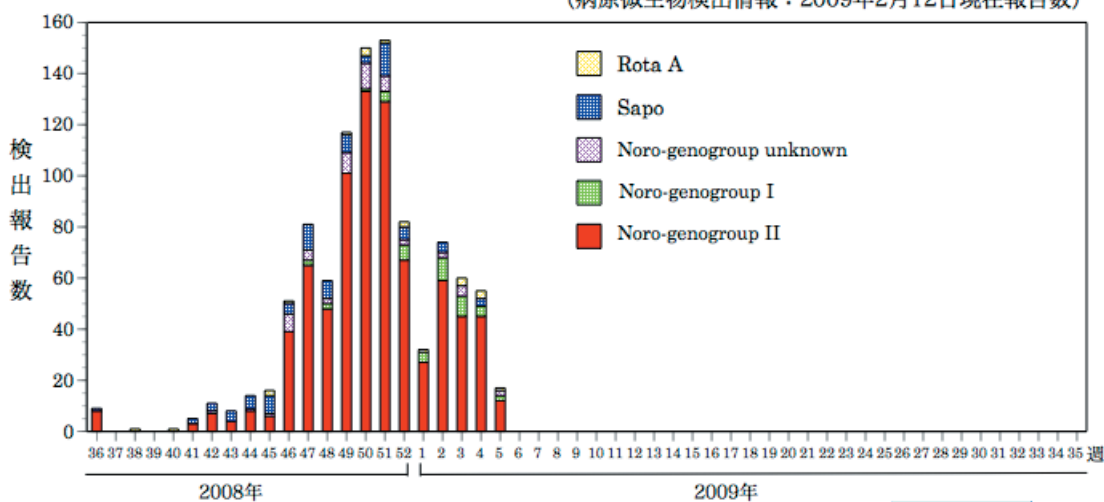


感染性胃腸炎関連ウイルス 2008/09シーズン

2008年第46週以降、ノロウイルスgenogroup IIの報告が増加している。病原体個票では2008年第36週～2009年第6週までにノロウイルスgenogroup(G) 42件、GII 806件、G不明50件、サポウイルス78件、A群ロタウイルス21件の検出が報告されている。

週別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告数、2008/09シーズン

(病原微生物検出情報：2009年2月12日現在報告数)



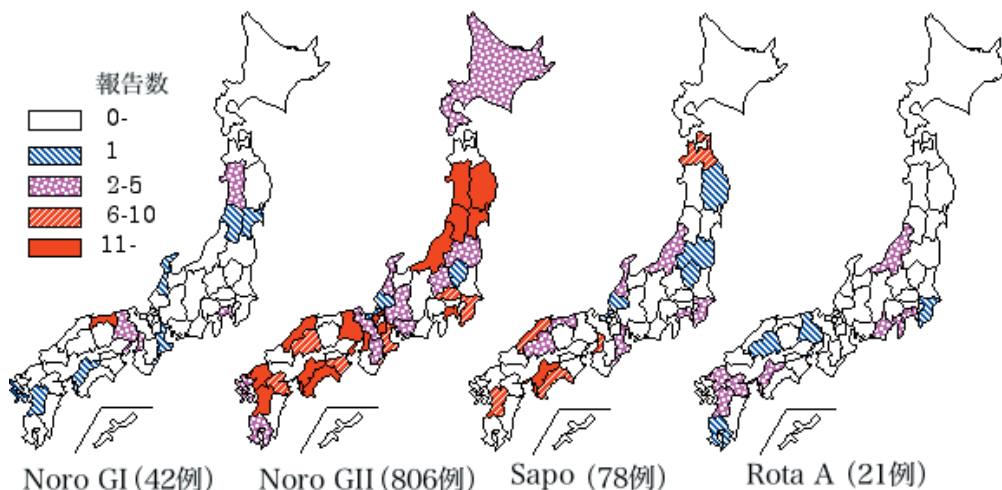
*各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2008/09シーズン

(病原微生物検出情報：2009年2月12日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

ノロウイルス: GI/NT 鳥取県24件、神奈川県5件、秋田県、大阪府、兵庫県各2件、宮城県、山形県、石川県、三重県、愛媛県、長崎県、熊本県各1件、計42件、GII/NT 神奈川県202件、熊本県64件、大阪府54件、愛媛県50件、滋賀県46件、福岡県39件、高知県38件、山形県27件、岩手県25件、秋田県24件、島根県15件、兵庫県12件など、計669件。GII/2 大阪府4件、千葉県1件、計5件。GII/3 千葉県3件、宮城県2件、計5件。GII/4 大阪府、福岡県各31件、新潟県17件、大分県8件、宮城県7件、滋賀県4件、埼玉県、千葉県、佐賀県各2件、栃木県1件、計105件。GII/6 滋賀県13件、大阪府3件、千葉県、新潟県各2件、計20件。GII/12 福井県、福岡県各1件、計2件。

サポウイルス: G不明 愛媛県12件、青森県10件、高知県7件、島根県、熊本県各6件、鳥取県5件、神奈川県、三重県、大阪府、広島県各4件、千葉県、石川県各2件、岩手県、栃木県各1件、計68件。GI 新潟県、大阪府各3件、福島県、福井県、熊本県各1件、計9件。GII 熊本県1件。

A群ロタウイルス: NT 福岡県4件、神奈川県、愛媛県、熊本県、大分県各2件、千葉県、兵庫県、広島県、鹿児島県各1件、計16件。G1 静岡県2件。G3 新潟県3件。

この他にアストロウイルスの検出が熊本県5件、神奈川県4件、大阪府2件、福島県1件、計12件報告されている。

また、集団発生病原体票では集団感染事例が133事例報告されている(genogroup II 112事例、genogroup I 5事例、genogroup I+II 1事例、genogroup不明15事例)、genogroup IIの遺伝子型別ではGII/4が30事例、GII/6が8事例、GII/2、GII/3、GII/13が各1事例、genogroup Iの遺伝子型別では、GI/4が3事例報告されている。

推定感染経路は保育所・幼稚園、小学校、福祉施設・老人施設、病院、飲食店などでの人人感染が疑われる胃腸炎集団発生が49事例、食中毒および有症苦情が55事例、その他・詳細不明29事例である(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.html>)、



腸管出血性大腸菌感染症 2006、2007年 - 後編 (2009年2月12日現在)

感染経路・感染源(確定または推定として報告されている)

2006年: 3,922例の感染経路は、経口感染1,419例(36.2%)、接触感染610例(15.6%)、経口または接触感染89例(2.3%)、動物・蚊・昆虫等(以下動物等)からの感染37例(0.9%)、経口または接触または動物等からの感染15例(0.4%)、接触または動物等からの感染8例(0.2%)、経口または動物等からの感染7例(0.2%)、その他31例(0.8%)、不明・記載なしが1,706例(43.5%)であった。その他として、職場の定期検便2例、実習中の感染1例などが報告されていた。経口感染とされた1,530例(複数の感染経路での報告を含む)のうち、肉類の喫食が記載されていたものは454例あった。454例のうち、210例は生肉(加熱不十分の肉を含む)を喫食しており、種類として生レバー・レバ刺しが122例と多かった。

2007年: 4,617例の感染経路は、経口感染2,065例(44.7%)、接触感染611例(13.2%)、経口または接触感染45例(1.0%)、動物等からの感染17例(0.4%)、経口または動物等からの感染6例(0.1%)、接触または動物等からの感染2例(0.0%)、経口または接触または動物等からの感染8例(0.2%)、その他102例(2.2%)、不明・記載なしが1,761例(38.1%)であった。その他として、職場の定期検便2例、実験室内感染1例が報告されていた。経口感染とされた2,124例(複数の感染経路での報告を含む)のうち、肉類の喫食が記載されていたものは582例あった。582例のうち、生肉を喫食していたものは266例で、そのうちの158例が生レバー・レバ刺しを喫食していた。

O血清群・毒素型(表1)

2006年: 3,922例のO血清群は、O157 2,690例(68.6%)、O26 867例(22.1%)、O111 110例(2.8%)の順であり、これは従来と同様であった。毒素型も加えると、O157 VT1・VT2が1,742例(うち有症状者70.7%)と最も多く、次いでO157 VT2が837例(うち有症状者63.0%)、O26 VT1が821例(うち有症状者47.7%)であった。O26 VT1は、2004年(645例、2005年1月20日時点)、2005年(561例、2006年3月31日時点)と比べ多かった。

2007年: 4,617例のO血清群は、O157 3,431例(74.3%)、O26 529例(11.5%)、O111 255例(5.5%)の順で、毒素型も加えると、O157 VT1・VT2が2,017例(うち有症状者72.9%)と最も多く、次いでO157 VT2が1,247例(うち有症状者62.0%)、O26 VT1が506例(うち有症状者59.1%)、O111 VT1が155例(うち有症状者55.5%)であった。2006年と比較すると、2007年は東京都(O157 VT2)と宮城県(O157 VT1・VT2)で発生した2つの大規模食中毒事例などによる報告数の増加で、O157の割合が増加した。また、保育園においてO111 VT1による集団感染事例が多発したため、O111の割合も増加がみられた。

表1-1. 腸管出血性大腸菌感染症の報告症例における原因菌の血清群と毒素型(2006年)

O血清群	毒素型	有症状者	無症状病原体保有者	合計	
		再掲(国外感染)	再掲(国外感染)	再掲(国外感染)	
O157	VT1	40	36	76	
	VT2	527 (21)	310 (4)	837 (25)	
	VT1・VT2	1,231 (11)	511 (5)	1,742 (16)	
	VT不明	34	1	35	
	小計	1,832 (32)	858 (9)	2,690 (41)	
O26	VT1	392 (3)	429	821 (3)	
	VT2	2	3	5	
	VT1・VT2	31	9	40	
	VT不明	0	1	1	
	小計	425 (3)	442	867 (3)	
O111	VT1	49 (4)	17 (1)	66 (5)	
	VT2	1	0	1	
	VT1・VT2	30 (1)	10	40 (1)	
	VT不明	3	0	3	
	小計	83 (5)	27 (1)	110 (6)	
O103	VT1	23	8	31	
	VT2	2	0	2	
	VT1・VT2	1 (1)	0	1 (1)	
	小計	26 (1)	8	34 (1)	
O121	VT2	26	5	31	
	小計	26	5	31	
O91	VT1	5	14	19	
	VT1・VT2	0	2	2	
	小計	5	16	21	
O145	VT1	4	4	8	
	VT2	5	2	7	
	VT1・VT2	1	0	1	
	小計	10	6	16	
O165	VT2	10	0	10	
	VT1・VT2	3	0	3	
	小計	13	0	13	
その他	O1	VT1	1	2	3
	O1	VT1・VT2	1	0	1
	O8	VT2	0	1	1
	O18	VT1	1	0	1
	O18	VT1・VT2	1	1	2
	O25	VT1	1	1	2
	O25	VT2	2	0	2
	O25	VT1・VT2	1	0	1
	O28	VT2	1	0	1
	O41	VT1	1	0	1
	O44	VT1	0	1	1
	O48	VT2	0	1	1
	O48	VT1・VT2	0	1	1
	O55	VT1	1	1	2
	O63	VT2	3	2	5
	O74	VT1	1	0	1
	O84	VT1	0	1	1
O115	VT1	3	2	5	
O119	VT1	1	0	1	
O126	VT1	2	0	2	
O128	VT1	1 (1)	1	2 (1)	

	O128	VT2	2	0	2
	O128	VT1・VT2	1	2	3
	O153	VT1	0	2	2
	O153	VT1・VT2	0	1	1
	O161	VT2	1	0	1
	O169	VT1	3	0	3
	O179	VT2	0	1	1
	不明	VT1	14 (1)	13	27 (1)
		VT2	6	4	10
		VT1・VT2	10	7	17
		VT不明	33	0	33
複数検出	O157 VT2 + O26 VT1		1	0	1
	O157 VT1・VT2 + O113 VT2		1	0	1
	O26 VT2 + O不明 VT2		1	0	1
		小計	95 (2)	45 (0)	140 (2)
総計			2,515 (43)	1,407 (10)	3,922 (53)

表1-2. 腸管出血性大腸菌感染症の報告症例における原因菌の血清群と毒素型(2007年)

O血清群	毒素型	有症状者	無症状病原体保有者	合計
		再掲(国外感染)	再掲(国外感染)	再掲(国外感染)
O157	VT1	76 (2)	27 (1)	103 (3)
	VT2	773 (13)	474 (5)	1,247 (18)
	VT1・VT2	1,470 (9)	547 (2)	2,017 (11)
	VT不明	59 (2)	5 (2)	64 (4)
	小計	2,378 (26)	1,053 (10)	3,431 (36)
O26	VT1	299 (4)	207	506 (4)
	VT2	1	0	1
	VT1・VT2	13	6	19
	VT不明	3	0	3
	小計	316 (4)	213	529 (4)
O111	VT1	86 (6)	69	155 (6)
	VT1・VT2	46	52 (1)	98 (1)
	VT不明	2	0	2
	小計	134 (6)	121 (1)	255 (7)
O103	VT1	38	30	68
	VT1・VT2	1	4	5
	VT不明	1	0	1
	小計	40	34	74
O121	VT1	1	1	2
	VT2	53 (1)	17	70 (1)
	VT1・VT2	1	0	1
	小計	55 (1)	18	73 (1)
O145	VT1	7	25	32
	VT2	2	0	2
	VT1・VT2	1	0	1
	VT不明	2	0	2
	小計	12	25	37
O91	VT1	6	26	32
	VT1・VT2	0	4	4
	小計	6	30	36
O165	VT2	9 (1)	1	10 (1)
	VT1・VT2	8	0	8
	VT不明	1	0	1
	小計	18 (1)	1	19 (1)

その他	O1	VT2	2	0	2
	O6	VT1・VT2	1	0	1
	O8	VT1	0	1	1
	O28 ac	VT2	1	0	1
	O18	VT2	1	0	1
	O18	VT1・VT2	1	0	1
	O18	VT不明	1	0	1
	O25	VT1	0	0	0
	O25	VT2	1(1)	2	3(1)
	O25	VT1・VT2	0	0	0
	O28	VT2	3	0	3
	O55	VT1	1	0	1
	O55	VT2	1	0	1
	O63	VT2	4	0	4
	O74	VT1	2	0	2
	O74	VT2	1	0	1
	O114	VT1	0	1	1
	O115	VT1	4	0	4
	O118	VT1	1	0	1
	O119	VT1	3	1	4
	O119	VT2	0	0	0
	O119	VT1・VT2	1	0	1
	O119	VT不明	0	0	0
	O125	VT2	1	0	1
	O126	VT1	2	0	2
	O128	VT1	0	1	1
	O128	VT2	1	0	1
	O143	VT1	0	1	1
	O146	VT2	0	1	1
	O146	VT1・VT2	0	3	3
	O147	VT2	1	0	1
	O150	VT1	1	1	2
	O153	VT2	1	0	1
	O174	VT2	0	1	1
OUT	VT1	3	5	8	
OUT	VT2	5	2	7	
OUT	VT1・VT2	1	2	3	
不明	VT1	6	4	10	
	VT2	2	7	9	
	VT1・VT2	11	3	14	
	VT不明	55	1	56	
複数検出	O26 VT1・VT2 + O26 VT1		1	1	2
	O157 VT1・VT2 + O1157 VT2		0	1	1
	O26 VT1 + O119 VT1		1	0	1
	O103 VT1 + O121 VT2		1	0	1
	O157 VT2 + O145 VT1		1	0	1
	O74 VT1 + O103 VT1		1	0	1
	小計		124(1)	39(0)	163(1)
総計			3,083(39)	1,534(11)	4,617(50)

重症例・死亡例(図6、表2、表3)

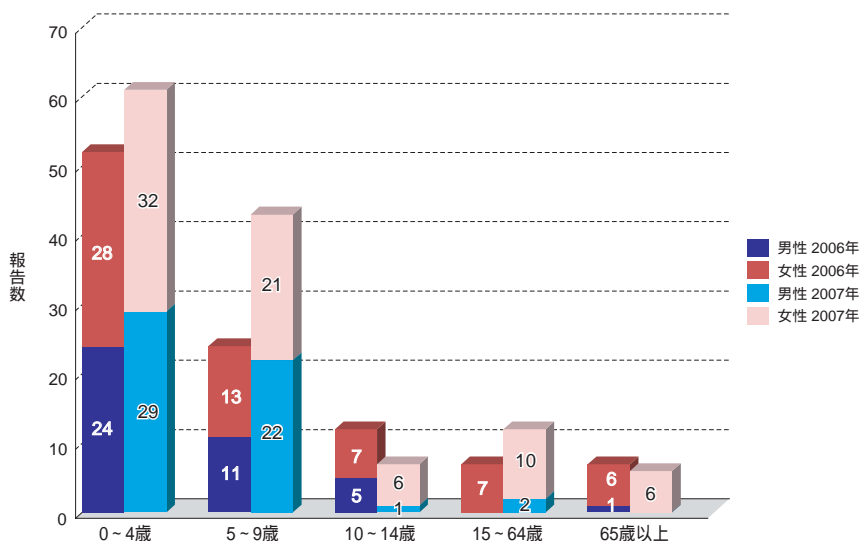
2006年の4月(第13週～)から溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例に限り、菌が分離されなくても、便からのVero毒素(VT)検出、あるいは血清におけるO抗原凝集抗体または抗VT抗体検出によって診断されたものが、届出の対象となった。同時に届出様式が変更され、それまで任意記載であった臨床症状の報告は、主な症状が選択式となり、急性腎不全、痙攣、昏睡、脳症などが選択項目となり、これらの症状も把握されやすくなった。

2006年 : HUSは102例(うち1～3月が3例)報告され、有症状者の4.1%に発生していた。性別では男性41例、女性61例であった。年齢は0～86歳(中央値4歳)で、年齢群別では0～4歳が52例(有症状者の6.7%)と最も多く、5～9歳24例(同5.7%)、10～14歳12例(同5.1%)、15～64歳7例(同0.8%)、65歳以上7例(同4.2%)であった。HUS発症例は10歳未満の小児に多くみられたが、有症状者に占めるHUSの発症率で見ると小児に限らず65歳以上の高齢者も高かった。HUS症例の診断方法は、菌分離が71例(69.6%)、菌は分離されなかったが血清でのO抗原凝集抗体が30例(29.4%)、便から直接のVT検出が1例(1.0%)であった。菌が分離された71例の血清群・毒素型をみると、O157 VT1・VT2 31例、O157 VT2 26例などO157が計62例で全体の87.3%を占め、他にO111が5例(VT1・VT2 4例、VT1 1例)、O26が2例(VT1・VT2 1例、VT2 1例)などであった。

死亡例の把握は届け出時点で記載されていたか、または届出後に追加で報告されたものに限られるが、3例みられており、内訳は2歳女性(O26 VT2とOUT VT2に重複感染、HUS発症)、4歳女性(O157 VT1・VT2、HUS発症)、70代女性(O157 VT1・VT2、HUS発症)で、すべてHUS発症者であった。報告されたHUS発症例(102例)の致死率は2.9%であった。

2007年 : HUS症例は129例報告され、有症状者の4.2%に発生していた。性別では男性54例、女性75例であった。年齢は1～89歳(中央値5歳)で、年齢群別では0～4歳が61例(有症状者の7.5%)と最も多く、5～9歳43例(同8.9%)、10～14歳7例(同2.6%)、15～64歳12例(同0.9%)、65歳以上6例(同2.8%)であった。2006年同様、10歳未満の小児に多くみられたが、有症状者に占めるHUSの発症率は、0～4歳と5～9歳の両年齢群において2006年より高かった。HUS症例の診断方法は、菌分離が81例(62.8%)、血清でのO抗原凝集抗体または抗VT抗体の検出が45例(34.9%)、便から直接のVT検出が3例(2.3%)であった。菌が分離された81例の血清群・毒素型をみると、

図6. 腸管出血性大腸菌感染症のHUS発症例の性別・年齢群別報告数(2006年・2007年)



O157 VT2 36例、O157 VT1・VT2 32例、などO157が計72例で全体の88.9%を占め、他にO121 VT2 3例、O165 VT2 3例などであった。HUS症例のうち11例で脳症の発生が報告された。

HUS症例以外での重篤な症状として、急性腎不全8例、痙攣1例、昏睡1例が報告された。

死亡例は4例で、内訳は3歳女性(O157 VT2、HUS発症)、4歳女性(患者血清による診断、HUS発症)、50代男性(O157 VT2、HUS発症)、80代男性(O157 VT1・VT2)であった。報告されたHUS発症例(129例)の致死率は2.3%であった。

なお、HUSの合併や死亡の報告については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があるため、このような発生があった場合には報告の追加、修正をお願いしている。

表2. 腸管出血性大腸菌感染症のHUS発症例の年齢別報告数と有症状者に占める割合(2006年・2007年)

年齢群	2006年			2007年		
	HUS	有症状者	HUS/有症状者(%)	HUS	有症状者	HUS/有症状者(%)
0～4歳	52	776	6.7%	61	814	7.5%
5～9歳	24	419	5.7%	43	482	8.9%
10～14歳	12	236	5.1%	7	265	2.6%
15～64歳	7	919	0.8%	12	1,306	0.9%
65歳以上	7	165	4.2%	6	216	2.8%
総計	102	2,515	4.1%	129	3,083	4.2%

表3. 腸管出血性大腸菌感染症のHUS発症例における分離菌の血清群と毒素型(2006年・2007年)

O血清群	毒素型	2006年	2007年	合計
		再掲 (死亡)	再掲 (死亡)	再掲 (死亡)
O157	VT1	2	0	2
	VT2	26	36(2)	62(2)
	VT1・VT2	31(2)	32	63(2)
	VT不明	3	4	7
小計		62(2)	72(2)	134(4)
O26	VT2	1	0	1
	VT1・VT2	1	1	2
小計		2	1	3
O111	VT1	1	0	1
	VT1・VT2	4	0	4
小計		5	0	5
その他	O121 VT2	0	3	3
	O165 VT2	0	3	3
	OUT VT2	0	1	1
	不明 VT2	1	0	1
複数菌検出	VT1・VT2	0	1	1
	O26 VT2 + OUT VT2	1(1)	0	1(1)
小計		2(1)	8	10(1)
総計		71(3)	81(2)	152(5)

<参考> 菌分離以外の診断によるHUS報告症例

血清でのO抗原凝集抗体	30	45(1)	75(1)
[うちO157LPS抗体陽性]	[12]	[19]	
便でのベロ毒素検出	1	3	4

2006年、2007年のまとめ

感染症法施行以降の年間累積報告数を2000年以降の8年間でみると、2006年は2001年に次ぐ3番目の報告数であり、2007年は過去最高の報告数であった。2006年、2007年ともに従来と変わらず各地で保育施設での集団感染事例が発生し、さらに2007年には、100名を超える大規模な食中毒事例が2件発生したことが影響している(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/28/327/graph/t3272j.gif>、<http://idsc.nih.go.jp/iasr/29/339/graph/t3392j.gif>)。

HUS発症例は、2006年4月の届出基準の改正で、菌が分離されない場合でも、患者の血清抗体の検出または便から直接のVT検出も届出対象となったことにより、2004年48例、2005年42例の報告であったものが、2006年102例、2007年129例と報告数は倍以上となった。死亡の報告数は、2006年3例、2007年4例(1999年1例、2000年2例、2001年4例、2002年4例、2003年2例、2004年5例、2005年10例)であった。

このように、本疾患は依然として年間3,500 ~ 4,000例の規模で報告が続いており、小児や高齢者において、HUSなどの重症例や死亡例がみられている。感染経路や感染源の推定・確定は、本症の潜伏期間が2 ~ 14日と比較的長いこともあり、はっきりしないことも多いが、近年生肉や生レバーが感染源と見られる届出も多く認められている。特に小児、高齢者や抵抗力の弱い者などでは、肉・レバーなどはよく加熱し、生食は控える必要がある。食品の取り扱いには十分注意して、食中毒の発生予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。最近では自治体をまたいだ広域発生事例も散見されており、食材・食品の流通という観点も併せ、事例調査と対策における自治体間の連携は、本疾患の対策上今後ますます重要と考える。また、保育園や幼稚園などの保育施設での集団感染事例があとを絶たない。1人では手指衛生を十分に行えない乳幼児が集団生活を営む保育施設では特に、感染症発生の早期探知と二次感染予防を含めた拡大防止策の徹底が重要である。

2008年暫定報告数(2009年2月19日現在)

報告数は4,320例で、うちHUS発症例は94例である。



海外感染症情報

鳥インフルエンザ - ベトナムにおける状況

WHO/EPR 2009年2月11日 - 更新

ベトナム保健省は、鳥インフルエンザウイルスH5N1亜型の新たなヒト感染症例を確認した。症例は国立衛生疫学研究所(NIHE)によって確認された。

症例はQuang Ninh省Dam Ha地区の23歳女性である。女性は2009年1月28日に発症し、1月31日に入院した。女性は現在重体であり、発症前に病鳥や死鳥との接触があった。さらなる調査が現在行なわれている。制圧のための対策がとられ、濃厚接触者が同定され監視されている。

ベトナムで現在までに確認された108例のうち、52例が死亡している。

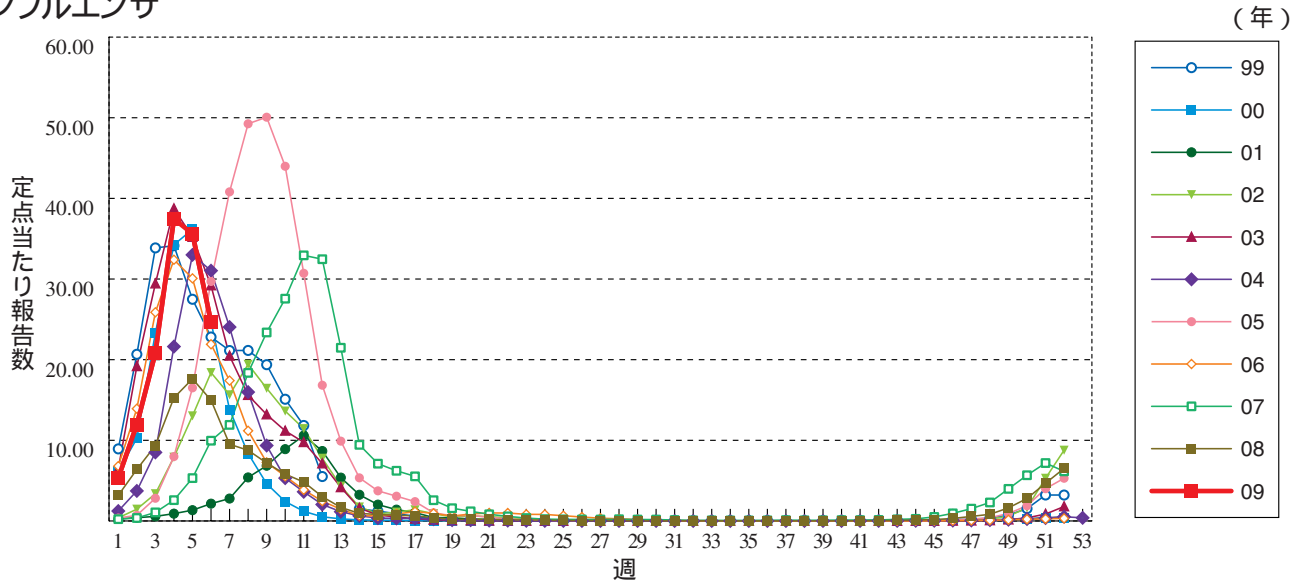


感染症の話

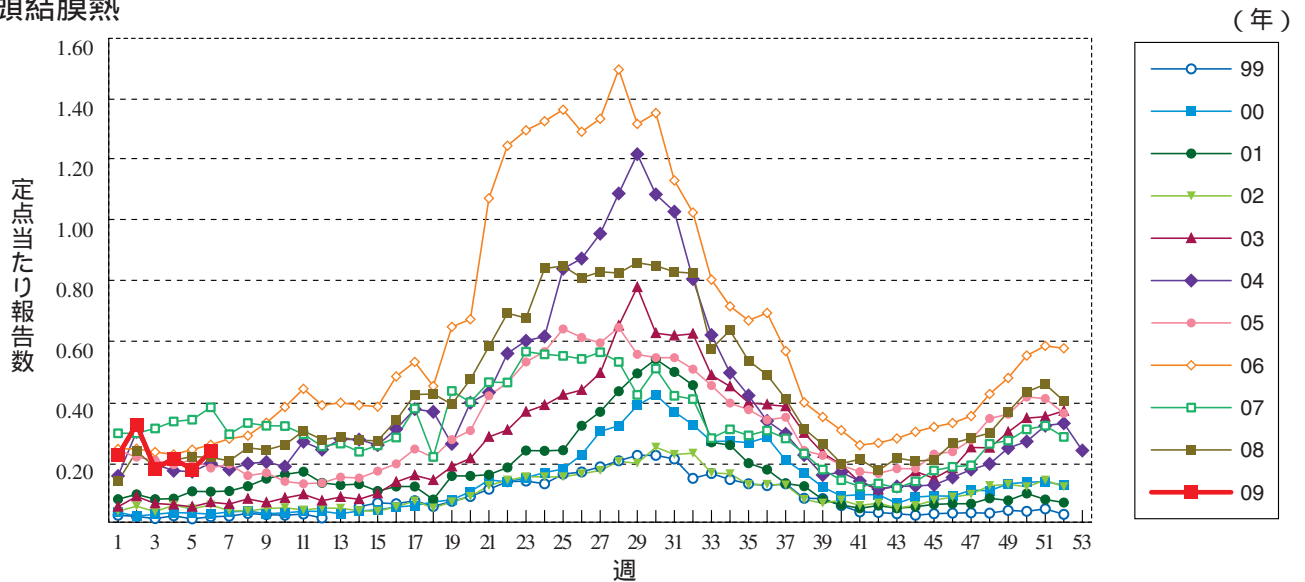
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(6週)

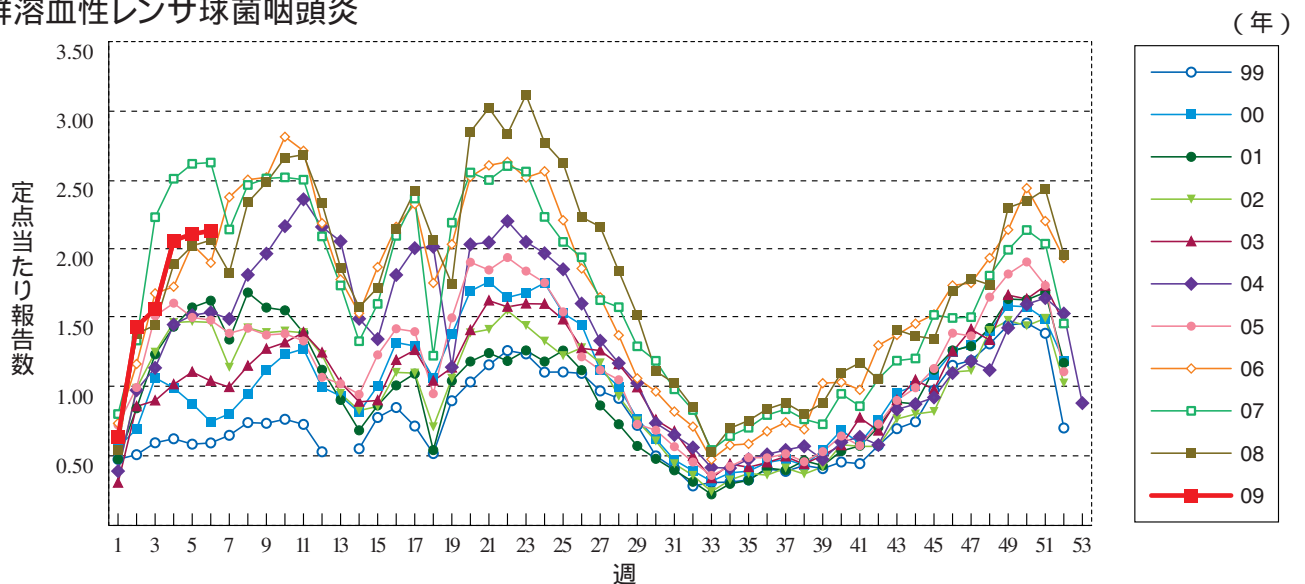
インフルエンザ



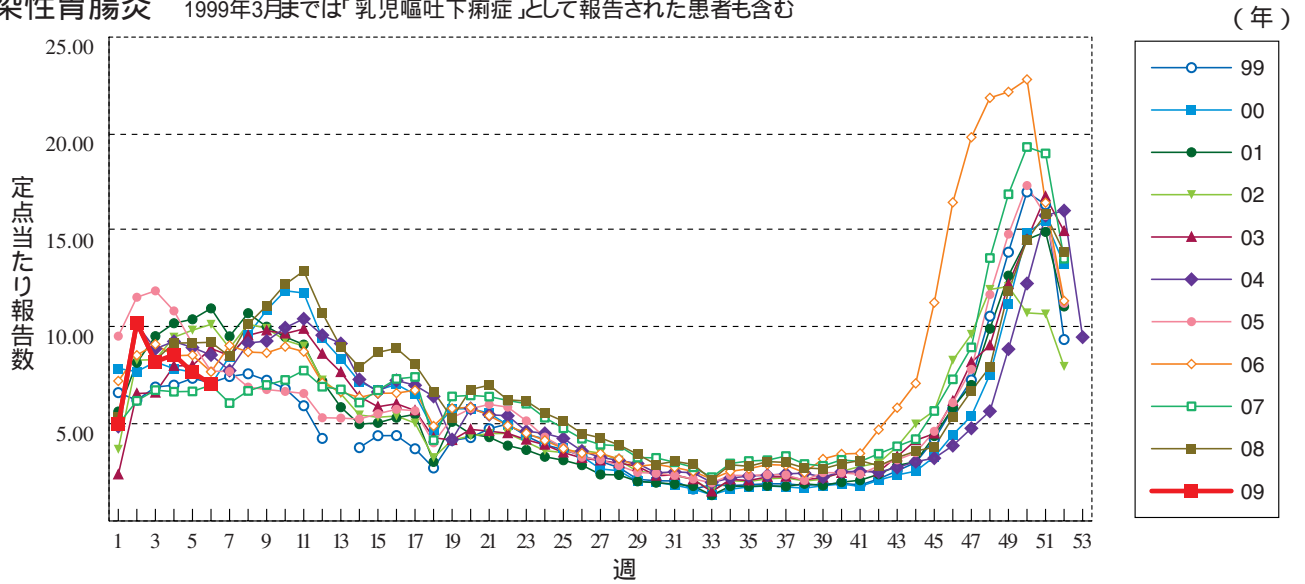
咽頭結膜熱



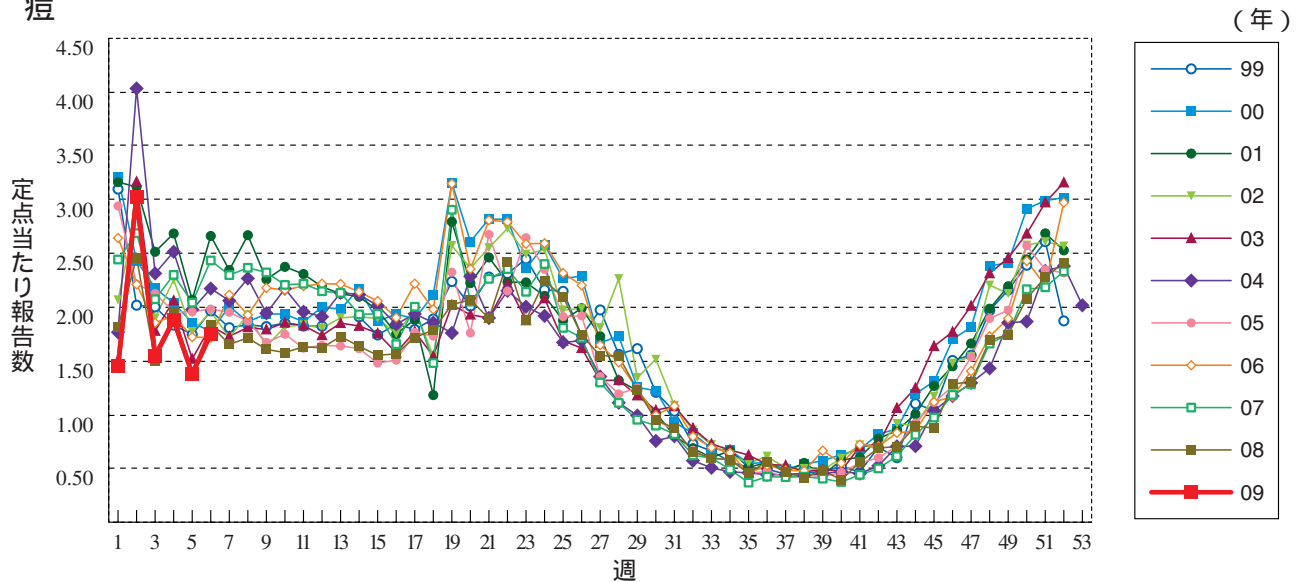
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



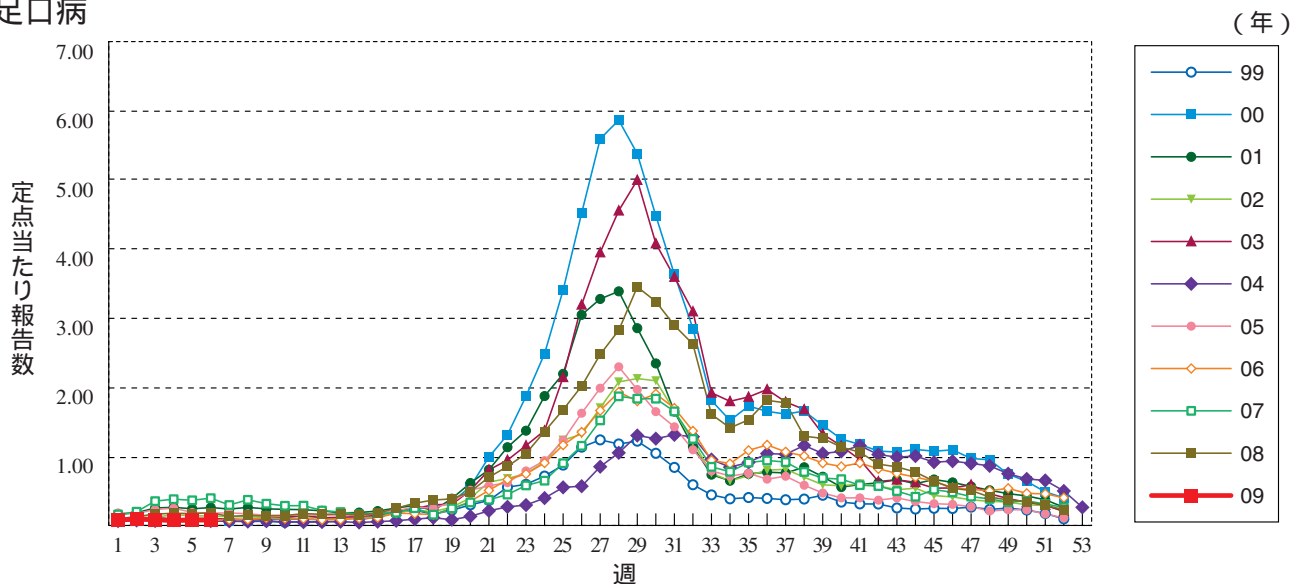
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



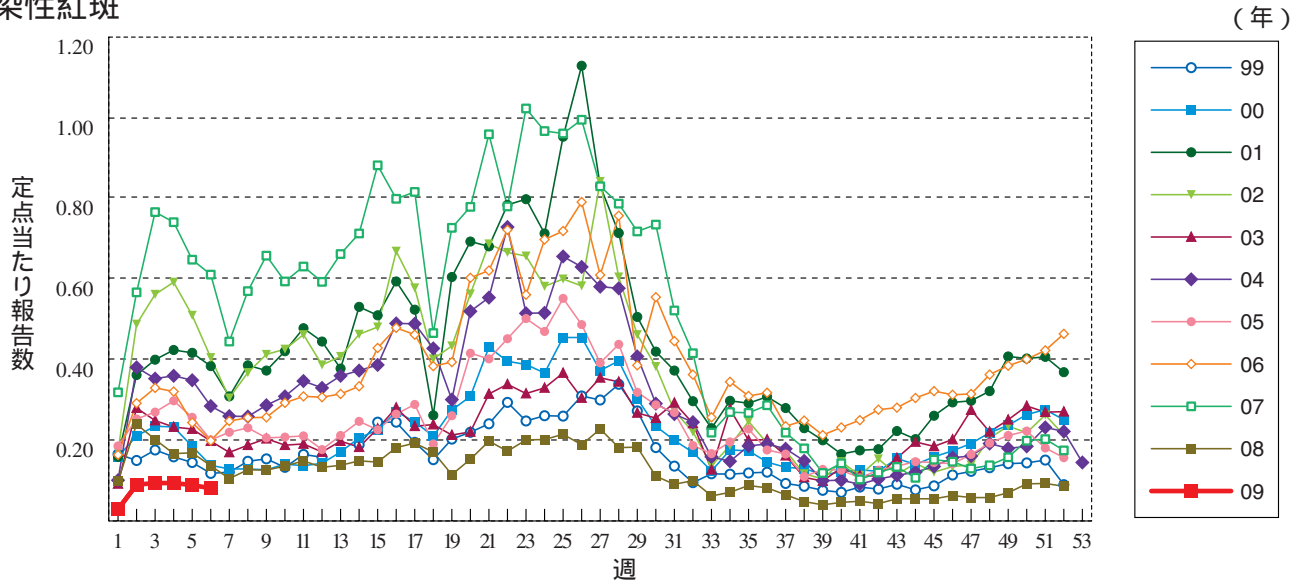
水痘



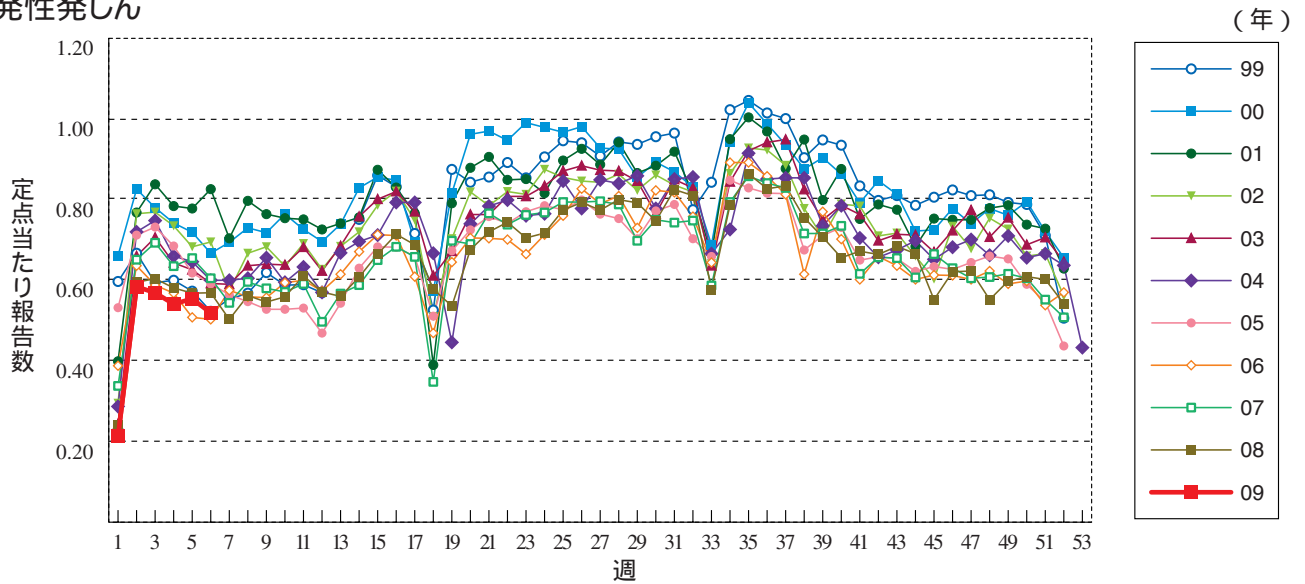
手足口病



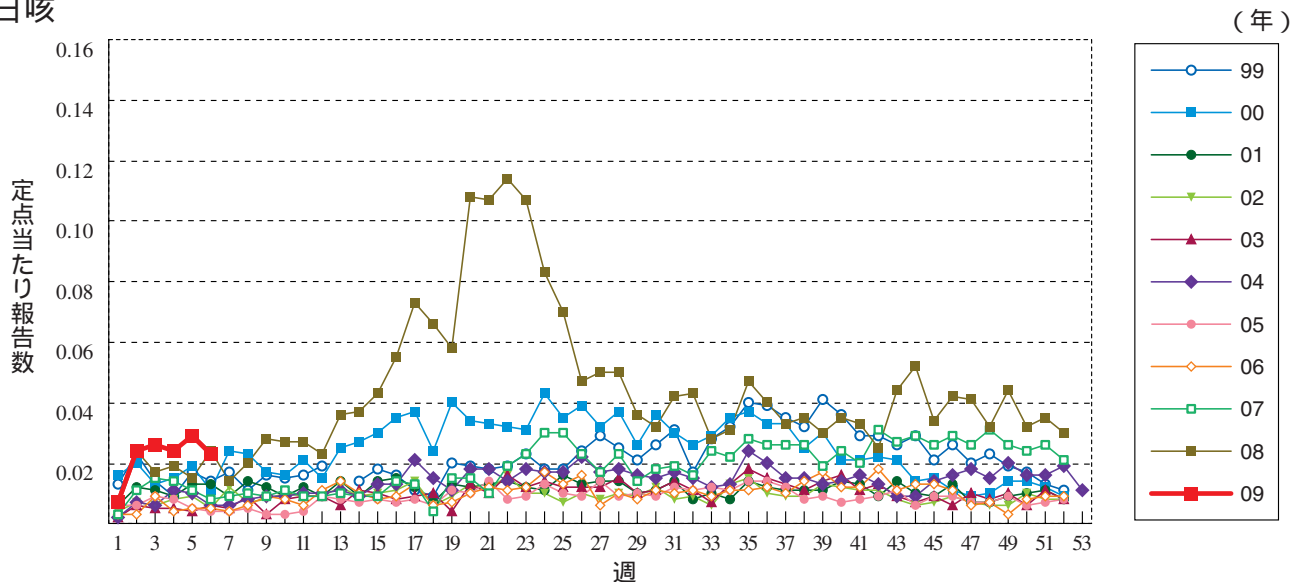
伝染性紅斑



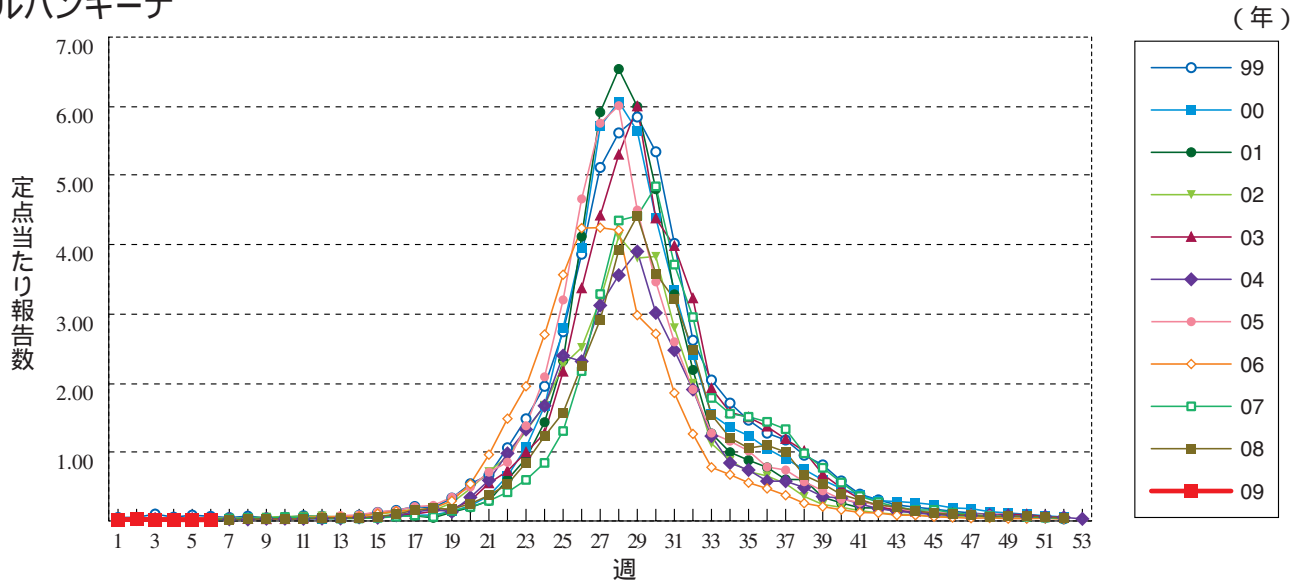
突発性発しん



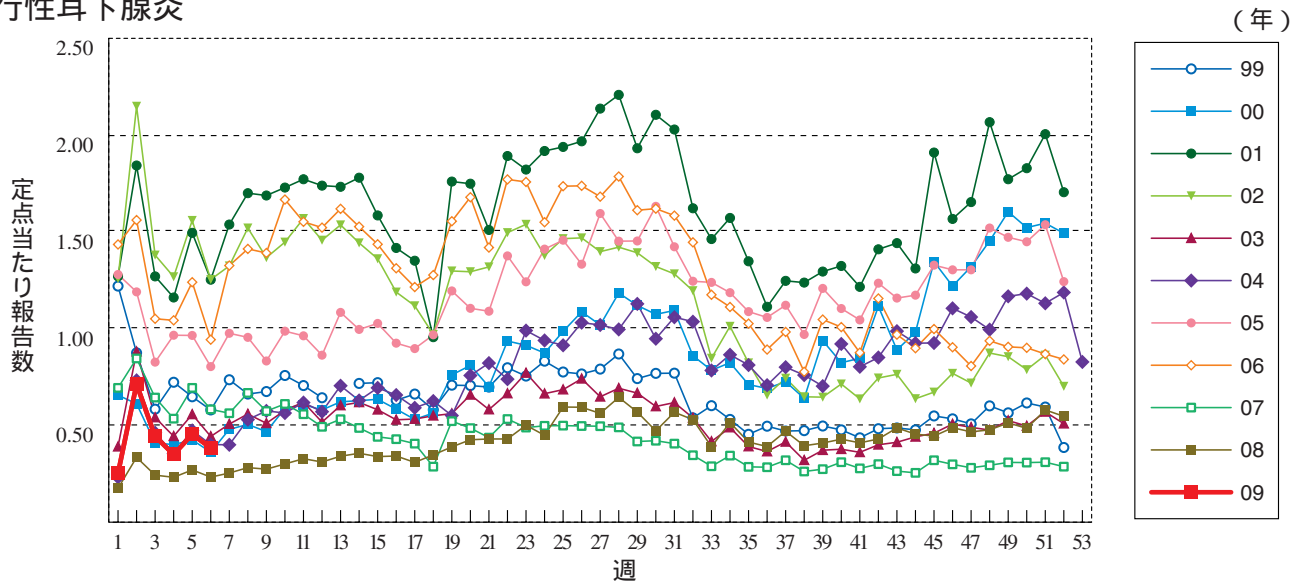
百日咳



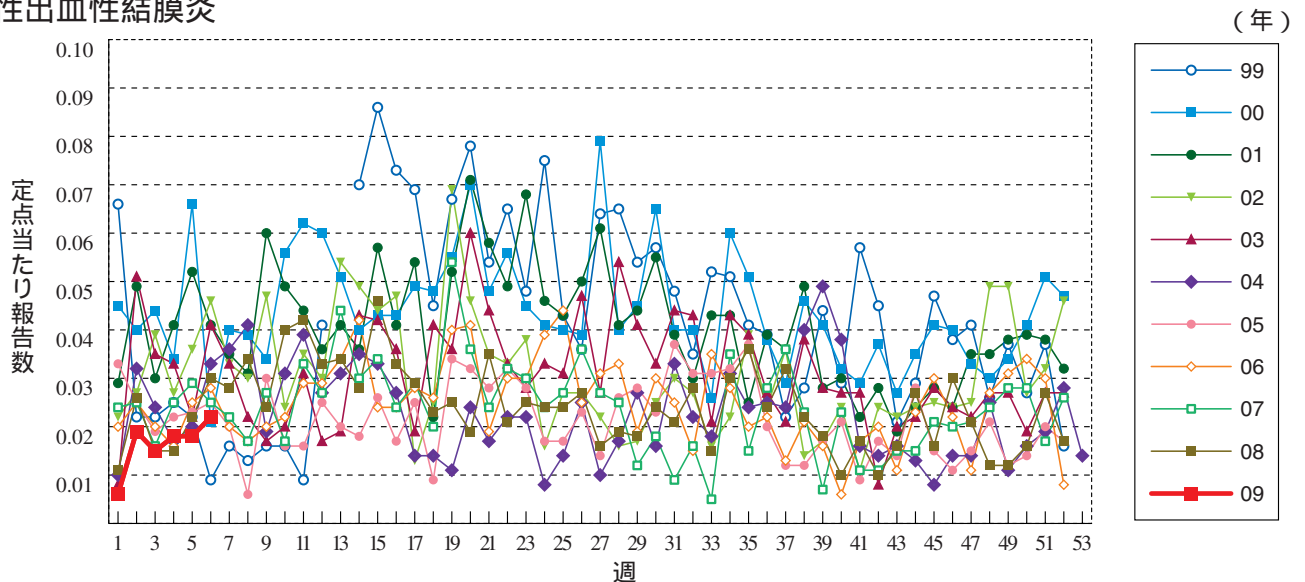
ヘルパンギーナ



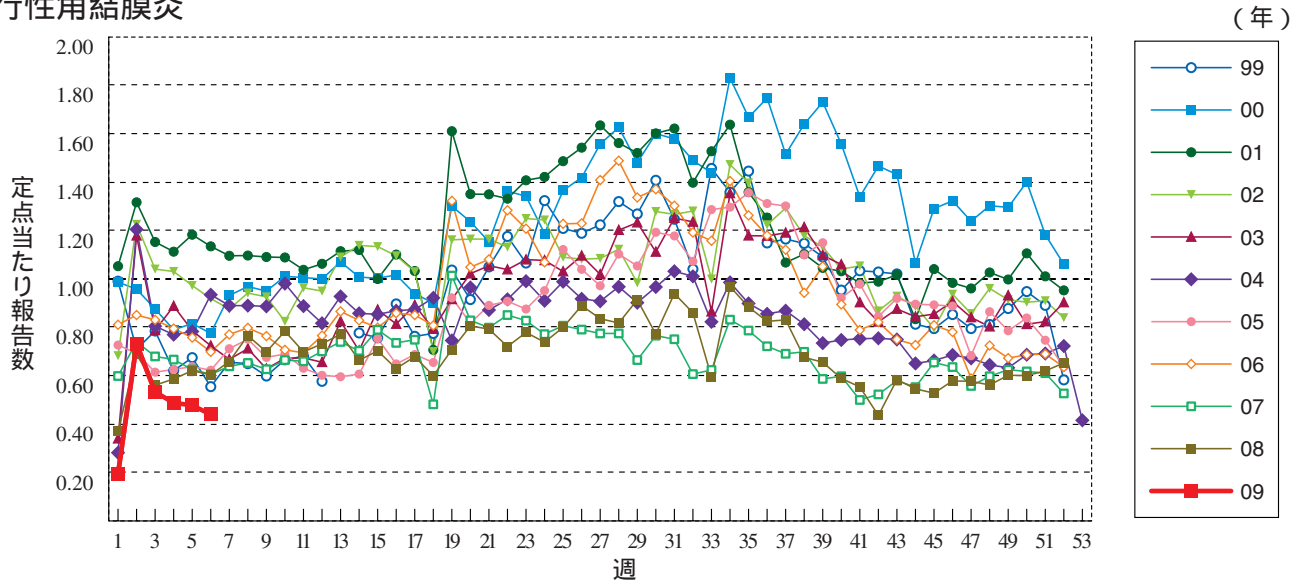
流行性耳下腺炎



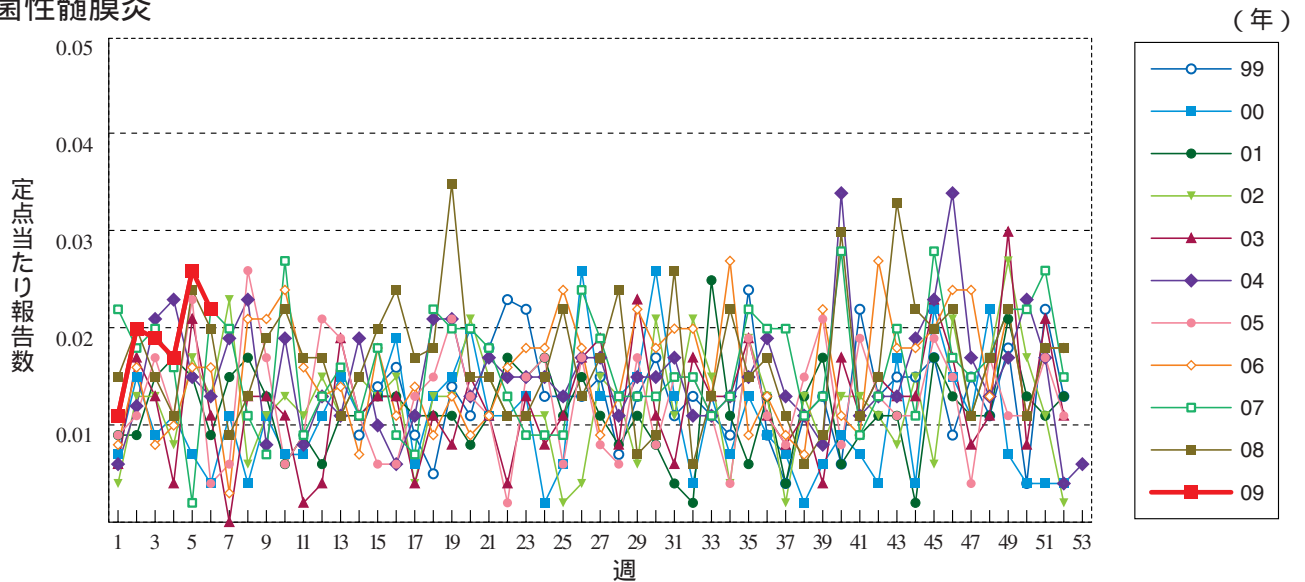
急性出血性結膜炎



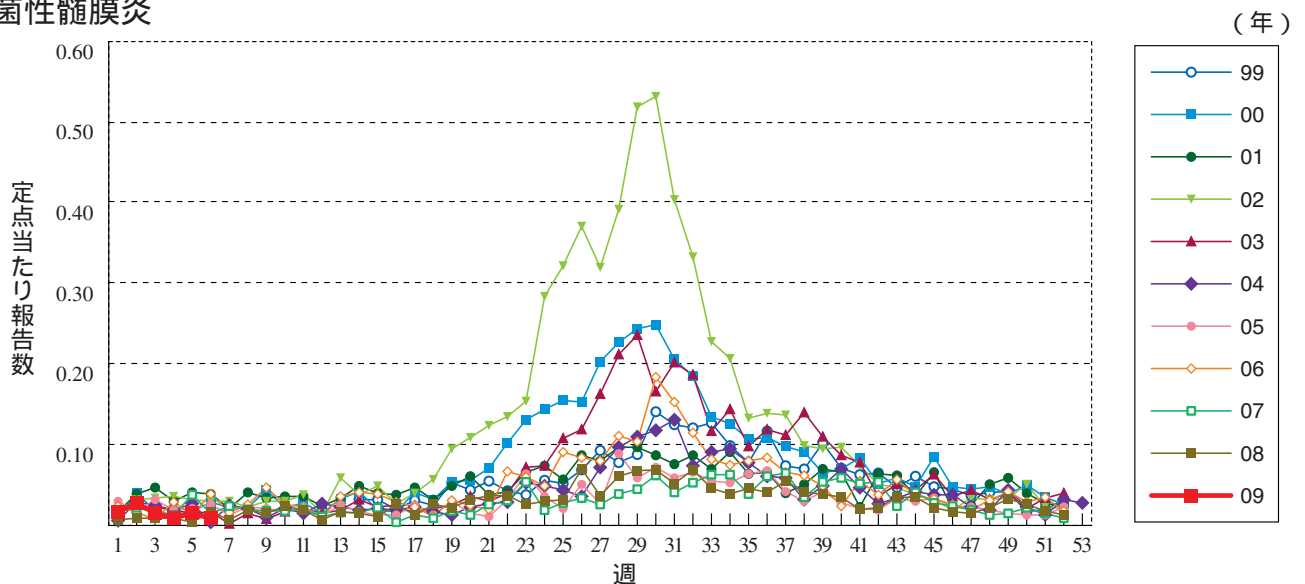
流行性角結膜炎



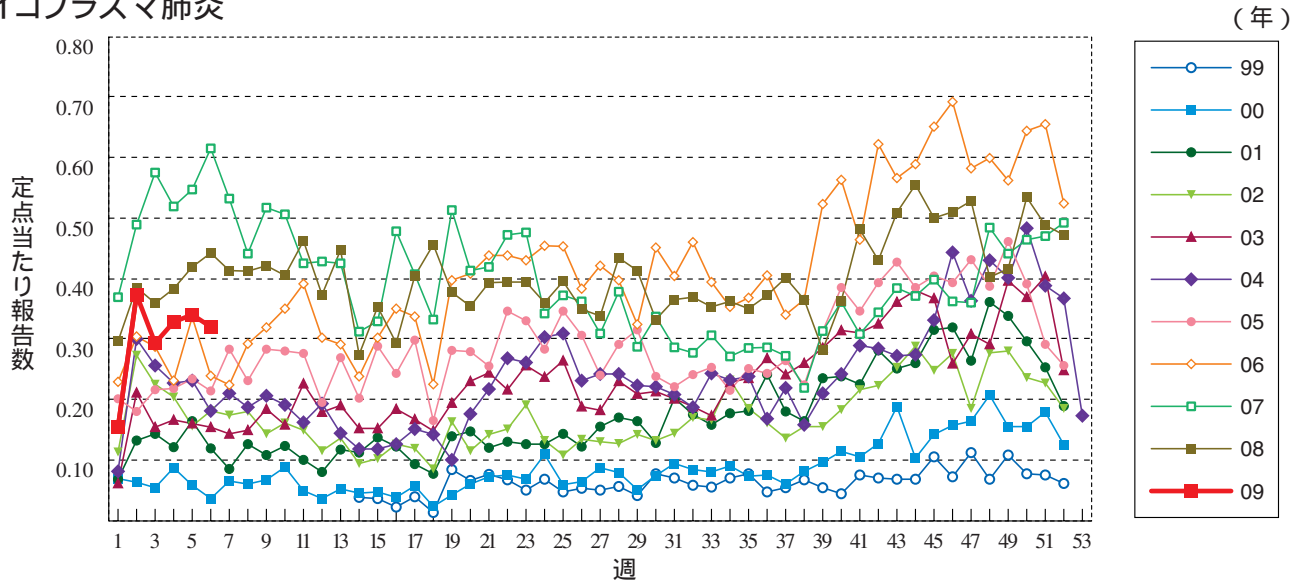
細菌性髄膜炎



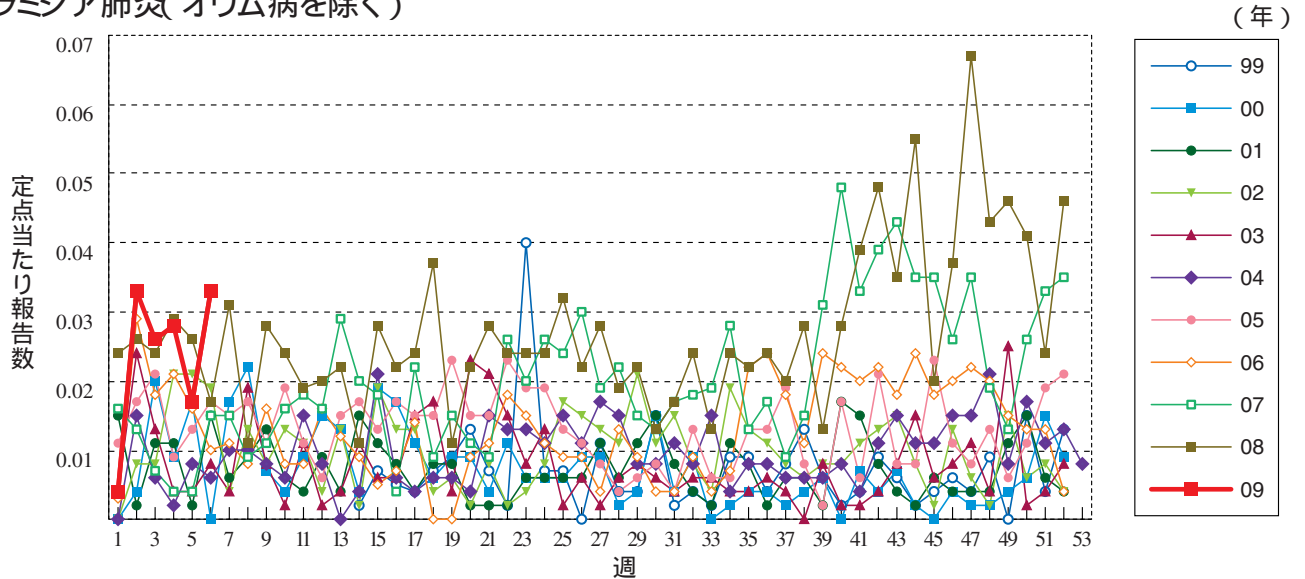
無菌性髄膜炎



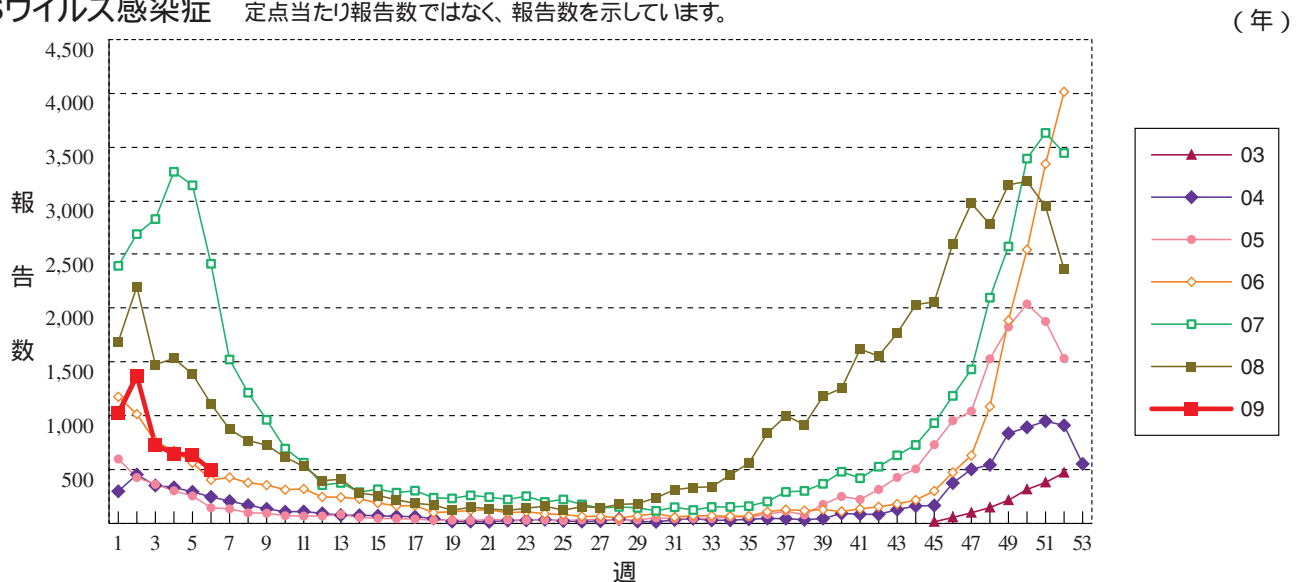
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





6週のデータ

注) 表中の報告数は2月12日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年6週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	322	2102
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	81
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	30
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	18
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	40
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	23
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	30
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	38
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	29
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	107
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	140
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60	318
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	155
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	22
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	16
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	24
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	23
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	66
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	33
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	157
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	26
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	25
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	40
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	71
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	89
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	18
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	23
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	58
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	33
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	18
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	10
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	100
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	11
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	29
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	14
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	24
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	26
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年6週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	3	14	6	60	-	2	-	-	1	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	3	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	1	-	-	1	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	5	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年6週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	8	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年6週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	2	12
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
東京都	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2009年6週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年6週

	ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年6週

	類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	9	78	-	1	-	-	7	89	-	16	2	34	-	-	2	12
北海道	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2	-	-	1	1
千葉県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	7	-	-	1	5	-	-	-	1
東京都	-	-	1	9	-	-	-	-	2	18	-	4	-	4	-	-	1	1
神奈川県	-	-	-	6	-	-	-	-	1	6	-	1	-	2	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
富山県	-	-	-	4	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	7	-	-	-	-	-	3	-	-	1	1	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	1	3	-	-	-	-	-	10	-	-	-	6	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年6週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	12	10	131	-	5	-	3	-	-	6	63	-	5	-	-	1	10
北海道	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
東京都	-	1	5	47	-	3	-	-	-	-	3	16	-	1	-	-	-	1
神奈川県	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	2	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	19	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	2	5	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	5	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2009年6週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総数	5	15	11	94
北海道	-	1	-	3
青森県	-	-	1	2
岩手県	-	-	-	-
宮城県	1	1	-	2
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	1	3
埼玉県	-	1	1	9
千葉県	-	-	1	8
東京都	-	1	1	14
神奈川県	1	5	1	16
新潟県	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	1
愛知県	1	1	-	4
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1
大阪府	-	1	1	6
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	1	1	1	3
山口県	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-
福岡県	1	3	2	8
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	1	1
沖縄県	-	-	-	-

*鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年6週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	118099	24.69	707	0.23	6447	2.13	21364	7.06	5293	1.75	238	0.08	244	0.08	1569	0.52	70	0.02
北海道	2305	10.15	65	0.46	544	3.83	291	2.05	214	1.51	12	0.08	4	0.03	58	0.41	8	0.06
青森県	1480	22.77	11	0.26	51	1.21	316	7.52	96	2.29	27	0.64	9	0.21	18	0.43	1	0.02
岩手県	1105	17.27	-	-	35	0.88	234	5.85	51	1.28	9	0.23	3	0.08	18	0.45	1	0.03
宮城県	1760	18.33	21	0.35	87	1.45	581	9.68	134	2.23	5	0.08	13	0.22	46	0.77	1	0.02
秋田県	1198	21.78	9	0.26	163	4.66	200	5.71	67	1.91	16	0.46	-	-	14	0.40	2	0.06
山形県	1182	24.63	4	0.13	128	4.27	376	12.53	93	3.10	5	0.17	3	0.10	12	0.40	-	-
福島県	1490	18.63	9	0.19	139	2.90	323	6.73	72	1.50	7	0.15	10	0.21	37	0.77	1	0.02
茨城県	2211	18.43	10	0.13	199	2.65	333	4.44	86	1.15	9	0.12	7	0.09	18	0.24	1	0.01
栃木県	1971	25.93	9	0.19	56	1.17	173	3.60	52	1.08	10	0.21	2	0.04	32	0.67	3	0.06
群馬県	1681	16.98	2	0.03	117	1.92	419	6.87	82	1.34	6	0.10	3	0.05	28	0.46	-	-
埼玉県	6010	24.94	21	0.14	393	2.55	1097	7.12	226	1.47	23	0.15	11	0.07	93	0.60	4	0.03
千葉県	4997	23.80	29	0.22	386	2.92	970	7.35	217	1.64	9	0.07	14	0.11	68	0.52	5	0.04
東京都	4921	17.33	31	0.21	347	2.38	944	6.47	192	1.32	5	0.03	31	0.21	72	0.49	4	0.03
神奈川県	9296	28.43	27	0.13	376	1.84	1121	5.50	336	1.65	2	0.01	37	0.18	136	0.67	7	0.03
新潟県	3573	36.84	36	0.59	200	3.28	398	6.52	125	2.05	-	-	8	0.13	27	0.44	2	0.03
富山県	1421	29.60	9	0.31	134	4.62	261	9.00	50	1.72	-	-	-	-	20	0.69	-	-
石川県	1363	28.40	11	0.38	49	1.69	169	5.83	49	1.69	-	-	1	0.03	10	0.34	-	-
福井県	996	31.13	12	0.55	76	3.45	292	13.27	87	3.95	7	0.32	2	0.09	12	0.55	-	-
山梨県	971	24.28	3	0.13	47	1.96	134	5.58	19	0.79	-	-	4	0.17	4	0.17	-	-
長野県	2836	32.23	4	0.07	90	1.64	363	6.60	106	1.93	1	0.02	1	0.02	25	0.45	1	0.02
岐阜県	1346	15.47	26	0.49	40	0.75	264	4.98	44	0.83	5	0.09	2	0.04	25	0.47	1	0.02
静岡県	3943	29.65	34	0.40	155	1.82	659	7.75	166	1.95	1	0.01	6	0.07	42	0.49	-	-
愛知県	5605	28.89	24	0.13	302	1.67	1393	7.70	255	1.41	12	0.07	2	0.01	100	0.55	4	0.02
三重県	1914	26.58	12	0.27	73	1.62	498	11.07	87	1.93	-	-	-	-	20	0.44	-	-
滋賀県	1282	23.74	-	-	42	1.27	176	5.33	55	1.67	-	-	2	0.06	9	0.27	-	-
京都府	2541	20.66	5	0.07	85	1.13	401	5.35	51	0.68	3	0.04	1	0.01	35	0.47	-	-
大阪府	7188	25.13	28	0.15	435	2.30	1384	7.32	261	1.38	8	0.04	15	0.08	78	0.41	4	0.02
兵庫県	6763	33.98	22	0.17	145	1.12	1047	8.12	200	1.55	4	0.03	7	0.05	52	0.40	1	0.01
奈良県	1289	23.44	10	0.29	26	0.74	234	6.69	47	1.34	4	0.11	-	-	9	0.26	-	-
和歌山県	903	18.06	7	0.23	40	1.29	205	6.61	72	2.32	-	-	2	0.06	20	0.65	-	-
鳥取県	772	26.62	3	0.16	93	4.89	154	8.11	47	2.47	2	0.11	1	0.05	9	0.47	-	-
島根県	753	19.82	8	0.35	27	1.17	259	11.26	44	1.91	3	0.13	3	0.13	16	0.70	-	-
岡山県	1220	14.52	13	0.24	35	0.65	526	9.74	58	1.07	2	0.04	2	0.04	23	0.43	-	-
広島県	2435	21.17	16	0.22	103	1.43	522	7.25	147	2.04	-	-	11	0.15	32	0.44	-	-
山口県	1363	19.20	6	0.12	198	3.96	374	7.48	115	2.30	8	0.16	5	0.10	23	0.46	1	0.02
徳島県	868	22.84	5	0.22	16	0.70	148	6.43	21	0.91	-	-	1	0.04	9	0.39	-	-
香川県	2086	44.38	8	0.29	20	0.71	209	7.46	30	1.07	-	-	2	0.07	12	0.43	-	-
愛媛県	1826	29.93	7	0.19	44	1.19	363	9.81	77	2.08	4	0.11	2	0.05	30	0.81	-	-
高知県	1490	31.04	4	0.13	53	1.77	214	7.13	51	1.70	8	0.27	-	-	9	0.30	2	0.07
福岡県	6104	30.83	53	0.44	353	2.94	991	8.26	228	1.90	12	0.10	-	-	89	0.74	8	0.07
佐賀県	980	25.13	14	0.61	44	1.91	101	4.39	110	4.78	1	0.04	3	0.13	29	1.26	1	0.04
長崎県	2507	35.81	19	0.43	50	1.14	336	7.64	88	2.00	4	0.09	-	-	20	0.45	-	-
熊本県	2029	25.36	17	0.35	49	1.02	551	11.48	119	2.48	2	0.04	7	0.15	27	0.56	1	0.02
大分県	1736	29.93	4	0.11	130	3.61	424	11.78	91	2.53	-	-	1	0.03	35	0.97	-	-
宮崎県	2052	35.38	17	0.47	126	3.50	402	11.17	168	4.67	1	0.03	1	0.03	33	0.92	-	-
鹿児島県	2142	23.03	18	0.33	126	2.29	453	8.24	137	2.49	1	0.02	-	-	28	0.51	2	0.04
沖縄県	2195	37.84	4	0.12	20	0.59	81	2.38	170	5.00	-	-	5	0.15	7	0.21	4	0.12

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年6週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	53	0.02	1163	0.38	15	0.02	295	0.44	10	0.02	4	0.01	148	0.32	15	0.03	496	
北海道	4	0.03	13	0.09	-	-	9	0.31	1	0.04	-	-	1	0.04	-	-	27	
青森県	-	-	10	0.24	-	-	8	0.73	-	-	-	-	10	1.67	-	-	2	
岩手県	-	-	4	0.10	-	-	4	0.29	-	-	-	-	4	0.20	-	-	4	
宮城県	-	-	20	0.33	2	0.17	2	0.17	-	-	-	-	6	0.50	-	-	3	
秋田県	1	0.03	4	0.11	-	-	4	0.57	-	-	-	-	2	0.25	-	-	1	
山形県	1	0.03	32	1.07	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.20	-	-	1	
福島県	-	-	4	0.08	-	-	8	0.67	-	-	-	-	18	2.57	1	0.14	20	
茨城県	-	-	2	0.03	1	0.06	27	1.59	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	2	0.04	5	0.10	-	-	9	0.75	-	-	-	-	2	0.29	-	-	11	
群馬県	-	-	28	0.46	-	-	17	1.21	-	-	1	0.13	4	0.50	-	-	1	
埼玉県	3	0.02	42	0.27	-	-	8	0.19	-	-	-	-	6	0.67	1	0.11	1	
千葉県	3	0.02	69	0.52	1	0.03	16	0.48	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
東京都	3	0.02	47	0.32	2	0.05	14	0.38	1	0.04	-	-	4	0.17	3	0.13	7	
神奈川県	5	0.02	61	0.30	-	-	22	0.52	-	-	-	-	-	-	-	-	9	
新潟県	1	0.02	11	0.18	1	0.11	6	0.67	-	-	-	-	3	0.25	4	0.33	5	
富山県	2	0.07	5	0.17	-	-	7	1.00	-	-	-	-	1	0.20	-	-	3	
石川県	-	-	4	0.14	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.20	-	-	5	
福井県	-	-	38	1.73	-	-	1	0.33	-	-	-	-	4	0.67	-	-	5	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	14	0.25	-	-	11	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	11	
岐阜県	1	0.02	33	0.62	1	0.09	3	0.27	-	-	-	-	1	0.20	1	0.20	3	
静岡県	1	0.01	13	0.15	-	-	5	0.25	3	0.30	-	-	11	1.10	-	-	17	
愛知県	-	-	99	0.55	-	-	4	0.12	-	-	-	-	7	0.47	1	0.07	32	
三重県	1	0.02	11	0.24	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
滋賀県	-	-	24	0.73	2	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
京都府	6	0.08	10	0.13	-	-	7	0.41	-	-	-	-	1	0.14	-	-	3	
大阪府	-	-	79	0.42	-	-	6	0.12	1	0.07	-	-	7	0.50	-	-	70	
兵庫県	1	0.01	20	0.16	-	-	8	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	15	
奈良県	-	-	17	0.49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	14	0.45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	
鳥取県	-	-	3	0.16	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
島根県	-	-	1	0.04	-	-	-	-	-	-	2	0.25	3	0.38	-	-	6	
岡山県	5	0.09	16	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	
広島県	1	0.01	13	0.18	-	-	15	0.79	-	-	-	-	6	0.29	-	-	23	
山口県	-	-	6	0.12	-	-	6	0.67	1	0.11	-	-	7	0.78	-	-	30	
徳島県	-	-	2	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	
香川県	1	0.04	2	0.07	2	0.67	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
愛媛県	-	-	23	0.62	-	-	9	1.13	-	-	-	-	5	0.83	-	-	6	
高知県	-	-	40	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.43	2	0.29	16	
福岡県	-	-	149	1.24	-	-	10	0.38	1	0.07	-	-	1	0.07	1	0.07	29	
佐賀県	1	0.04	21	0.91	-	-	2	0.50	-	-	-	-	2	0.33	-	-	3	
長崎県	-	-	43	0.98	1	0.13	5	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-	11	
熊本県	1	0.02	23	0.48	1	0.11	14	1.56	1	0.07	-	-	-	-	-	-	29	
大分県	-	-	11	0.31	-	-	4	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
宮崎県	4	0.11	40	1.11	-	-	4	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	12	
鹿児島県	2	0.04	15	0.27	-	-	3	0.43	-	-	-	-	6	0.50	-	-	15	
沖縄県	3	0.09	22	0.65	1	0.10	10	1.00	1	0.14	-	-	20	2.86	1	0.14	4	

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年6週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2009年6週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第11巻 第6号 2009年2月20日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。